

平成28年～令和2年

和歌山県土砂災害啓発センター5年報



和歌山県土砂災害啓発センター

はじめに

このたび、和歌山県土砂災害啓発センター 5年報を刊行する運びとなりました。当誌は、今年が紀伊半島大水害から10年目の節目にあたり、当センターが開所して5年を経過した事から、今まで当センターが行ってきた土砂災害に関する啓発活動、調査研究活動及び発表業績等の成果をまとめたものです。

さて、当センターは、平成23年9月の台風12号による紀伊半島大水害などの甚大な被害をくり返さないため、土砂災害の記憶を後世に伝えるとともに、土砂災害に関する研究の拠点となることを目的に、平成28年4月24日に開所しました。

世界遺産でもある熊野那智大社の至近に位置し、土砂災害についての研修に来られる方のみならず観光で訪れた方に対しても、土砂災害の記録パネルや映像を使った啓発を行うとともに、調査研究で得られた最新の知見も併せて紹介しています。

今後は、土砂災害啓発のためのコンテンツをなお一層充実させ、土砂災害による死者ゼロを目指し、職員一同更なる研鑽に努める所存です。

設立に際して並々ならぬご尽力を賜りました関係者の皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、引き続きご指導ご鞭撻頂けますようお願い申し上げます、刊行のご挨拶とさせていただきます。

令和3年4月

所長 坂口 隆紀

目 次

1.	和歌山県土砂災害啓発センターの概要	
1-1	主な出来事	1
1-2	組織	3
1-3	施設	3
1-4	開館時間・休館日	4
2.	啓発活動	
2-1	来館者の状況	4
2-2	館内展示物	6
2-3	団体研修	11
2-4	夏休み企画	15
2-5	小学校・中学校への防災学習	18
2-6	地域講演会	22
2-7	その他啓発活動	22
3.	調査・研究	
3-1	研究活動	24
3-2	現地調査	28
4.	大規模土砂災害対策研究機構会議	30
5.	参考資料	
	参考資料① 和歌山県土砂災害啓発センター設立までのあゆみ	32
	参考資料② 土砂災害防止月間のスライド	35
	参考資料③ 団体研修実施一覧表	44
	参考資料④ 地域講演会の内容	54
	参考資料⑤ 和歌山県土砂災害啓発センター職員名簿	60

1. 和歌山県土砂災害啓発センターの概要

1-1 主な出来事

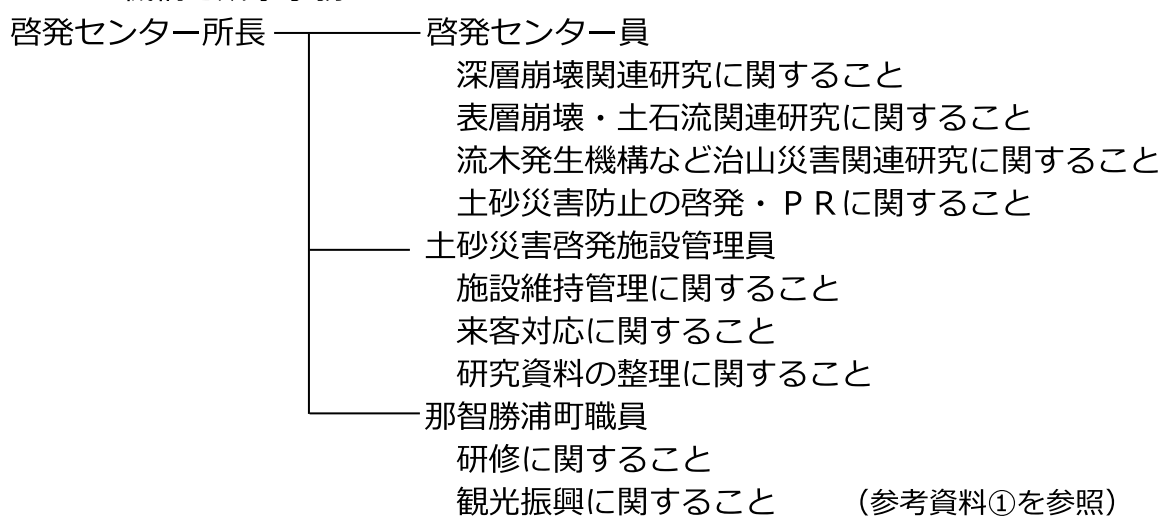
平成 23 年 9 月	紀伊半島大水害発生
平成 26 年 4 月 1 日	国土交通省が近畿地方整備局に「大規模土砂災害対策技術センター」を設置（那智勝浦町水道事務所内）
	県砂防課付けで職員（土木職 1 名）が技術センターに派遣
平成 26 年 7 月 21 日	「大規模土砂災害対策研究機構」設立シンポジウム
平成 27 年 4 月 1 日	県砂防課付けで職員（土木職 1 名）及び森林整備課付けで職員（林学職 1 名）を追加派遣
平成 27 年 5 月 2 日	「和歌山県土砂災害啓発センター（以下、啓発センター）」起工式
平成 27 年 5 月 20 日	砂防学会研究発表会（ポスター発表 3 件）（～22 日）
平成 27 年 9 月 16 日	治山研究発表会（口頭 1 件）（～17 日）
平成 28 年 4 月 1 日	「和歌山県土砂災害啓発センター」設立
平成 28 年 4 月 24 日	「大規模土砂災害対策技術センター入所・和歌山県土砂災害啓発センター竣工」記念式典
平成 28 年 5 月 18 日	砂防学会研究発表会（ポスター発表 7 件）（～20 日）
平成 28 年 9 月 16 日	土砂災害に関するシンポジウム（口頭発表 2 件）（～17 日）
平成 28 年 11 月 8 日	中南米防災人材育成拠点化支援プロジェクト来館
平成 29 年 2 月 2 日	「土砂災害防止会議（市町村長を対象）」開催
平成 29 年 2 月 16 日	「地域講演会 Vol.1 in 那智勝浦」（那智勝浦町体育文化会館）
平成 29 年 5 月 24 日	砂防学会研究発表会（ポスター発表 8 件）（～26 日）
平成 29 年 6 月 15 日	河川技術に関するシンポジウム（ポスター発表 2 件）（～16 日）
平成 29 年 6 月 27 日	全建賞受賞（啓発センターにおける研究・啓発活動）
平成 29 年 6 月 29 日	近畿地方整備局研究発表会（口頭発表 1 件）（～30 日）
平成 29 年 8 月 11 日	夏休み親子企画「ふるさとの土砂災害を知ろう」（～16 日）
平成 29 年 8 月 23 日	地すべり学会研究発表会（ポスター発表 1 件）（～25 日）
平成 29 年 9 月 9 日	「紀伊半島大水害から 6 年！」シンポジウム
平成 29 年 9 月 21 日	第 57 回治山研究発表会で優秀賞受賞
平成 29 年 10 月 7 日	「地域講演会 Vol.2 in 有田川」（有田川町金屋文化保健センター）
平成 30 年 1 月 6 日	入館者数 20,000 人突破
平成 30 年 2 月 3 日	「地域講演会 Vol.3 in 伊都」（かつらぎ総合文化会館）

平成 30 年 5 月 16 日	砂防学会研究発表会（ポスター発表 3 件）（～18 日）
平成 30 年 6 月 12 日	河川技術に関するシンポジウム（ポスター発表 2 件）（～13 日）
平成 30 年 6 月 28 日	近畿地方整備局研究発表会（口頭発表 1 件論文 1 件）（～29 日）
平成 30 年 7 月 14 日	入館者数 30,000 人突破
平成 30 年 8 月 12 日	夏休み企画「こまった土石流」（～16 日）
平成 30 年 8 月 22 日	地すべり学会研究発表会（ポスター発表 1 件）（～25 日）
平成 30 年 9 月 18 日	土砂災害に関するシンポジウム（口頭発表 1 件）（～19 日）
平成 30 年 10 月 1 日	インタープリバント 2018（ポスター発表 4 件）（～2 日）
平成 30 年 10 月 27 日	「地域講演会 Vol.4 in 紀美野」（紀美野町総合福祉センター）
平成 30 年 10 月 30 日	『世界津波の日』2018 高校生サミット in 和歌山 （土砂災害に関する講演・現場視察）
令和元年 5 月 23 日	砂防学会研究発表会（ポスター発表 3 件）（～21 日）
令和元年 6 月 12 日	河川技術に関するシンポジウム（ポスター発表 2 件）（～13 日）
令和元年 7 月 13 日	山東師範大学視察団来訪（講演・現地視察）
令和元年 8 月 1 日	入館者数 50,000 人突破
令和元年 8 月 10 日	夏休み企画「紀伊半島のなりたち」（～16 日）
令和元年 8 月 21 日	地すべり学会研究発表会（ポスター発表 2 件）（～23 日）
令和元年 10 月 1 日	治山研究発表会（口頭発表 1 件）（～2 日）
令和元年 10 月 17 日	国際（MSD）ワークショップ参加（口頭発表 4 件）（～18 日）
令和元年 10 月 19 日	国際（MSD）ワークショップ視察団来訪
令和元年 11 月 27 日	大規模土砂災害対策研究機構会議
令和 2 年 1 月 25 日	「地域講演会 VOL.5 in 日高川町」（日高川町防災センター）
令和 2 年 2 月 1 日	「地域講演会 VOL.6 in 紀の川市」（紀の川市役所ホール田園）
令和 2 年 4 月 13 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館（～5 月 24 日）
令和 2 年 5 月 19 日	砂防学会研究発表会（講演集投稿 5 件）（開催中止）
令和 2 年 6 月 10 日	河川技術に関するシンポジウム（講演集投稿 1 件）（開催中止）
令和 2 年 6 月 25 日	近畿地方整備局研究発表会（web 開催）（口頭発表 1 件） 奨励賞受賞
令和 2 年 8 月 8 日	夏休み企画「雨と土砂災害～雨のはかりかた、雨をもたらす雲とは？」（～16 日）
令和 2 年 8 月 28 日	土砂災害に関するシンポジウム（講演集投稿 3 件）（開催中止）
令和 2 年 9 月 1 日	「土砂災害警戒区域等の 360°動画」の公開 （啓発センターYouTube チャンネル）

令和2年10月3日	ぼうさいこくたい2020HIROSHIMA(オンライン) (口頭発表1件 ジオパークセンターと合同)
令和2年11月2日	大規模土砂災害対策研究機構会議
令和2年11月5日	治山研究発表会(WEB開催)(口頭発表1件)(~16日)
令和2年11月20日	一般研究集会「ジオパークを活用した地域住民—レジデント型研究者—行政連携の防災活動のあり方」に参加(~23日)
令和3年1月13日	防災RPG「土砂災害が発生したとき」の活用開始

1-2 組織

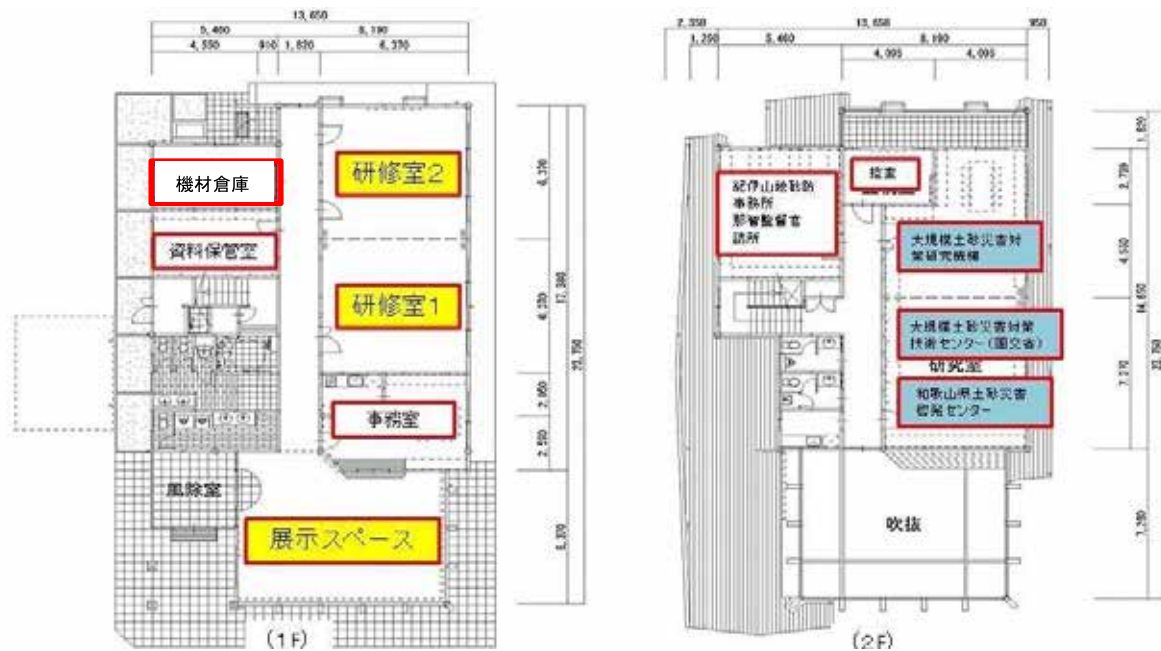
1-2-1 機構と所掌事務



1-3 施設

所在地 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字市野々3027-6

○木造2階建て
○延床面積 492㎡
1階 展示スペース 61.69㎡、事務室 23.41㎡、研修室1 40.58㎡、 研修室2 40.58㎡、資料保管室 17.39㎡
2階 研究室 87.11㎡、控室 11.18㎡
紀伊山系砂防事務所那智勝浦監督官詰所 34.78㎡
○総事業費 約2億4000万円



1 - 4 開館時間・休館日

- 開館時間 9時から正午
 13時から17時
- 休館日 年末年始
 大雨等による避難指示等が那智勝浦町より発令された時

2. 啓発活動

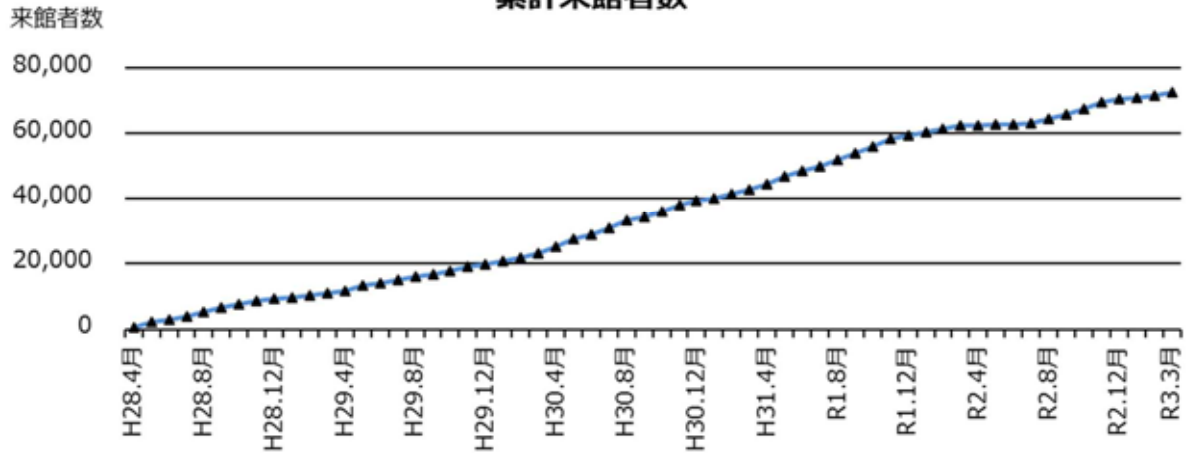
2 - 1 来館者の状況

平成28年4月の開館後、平成30年1月に累計の来館者数が20,000人を超え、平成31年2月には40,000人を、令和2年1月には60,000人を超え、令和3年3月31日現在で累計の来館者数は72,377人となっている。

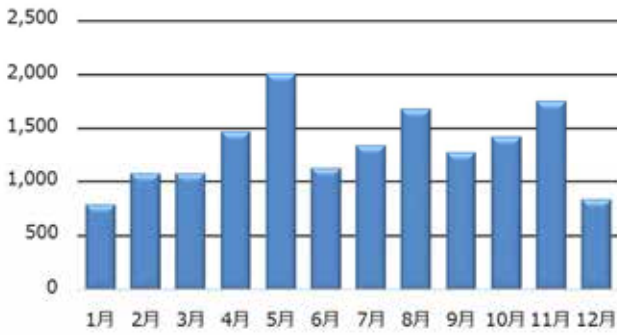
また、月別の平均来館者数はゴールデンウィークがある5月、夏休みの8月、観光シーズンの11月が多く、1月、12月は比較的少ない。

令和2年3月以降は、新型コロナウイルス感染症の流行に関連して、4月から7月にかけて来館者数が大きく減少し、ゴールデンウィーク前後(4月13日～5月24日)は閉館とした。また、年間の来館者数は例年の約半数(1万人)となった。

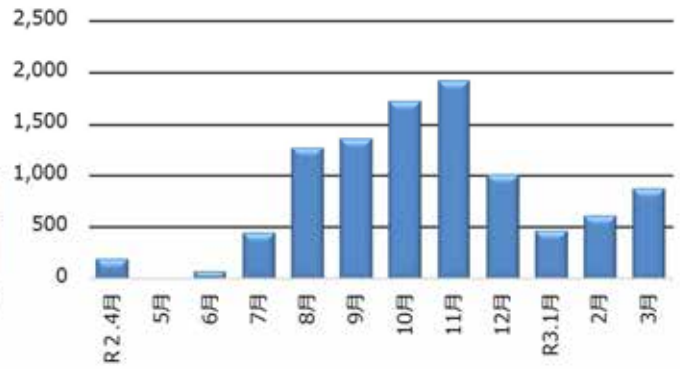
累計来館者数



月別の平均来館者数（令和2年4月以降を除く）



月別の来館者数（令和2年4月以降）



2-2 館内展示物

館内展示物は、当初から展示スペースに「和歌山県のすがた」「紀伊半島大水害の記録」「土砂災害の種類」「土砂災害を防ぐために」「土砂災害から身を守るために」の合計8枚のパネルを常設し、タッチパネル2台とモニター2台を設置し、土砂災害に関する啓発を行っている。

○土石流模型装置

国土交通省近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所から貸与されている「土石流模型装置」を活用した土石流の発生の様子や砂防堰堤の施設効果に加え、透過型堰堤と不透過型堰堤の機能の違いについても説明できるよう職員の手で模型を作成し研修・学習を行っている。また、隣接する鳴子谷砂防堰堤の見学も行っている。



装置外観



模型装置を用いた学習の様子

ライブ配信によるオンライン学習での活用



撮影の様子



太地中学校での視聴の様子



QRコード

録画したものを
閲覧できます。

○雨量計を用いた実験や雲の模型

土砂災害の誘因となる雨について、雨量計や雲の模型を用いて学習



○小型模型水路

水路の勾配や流量を変化させ、土石流や掃流等の土砂運搬現象を学習



模型水路の外観



模型水路を用いた学習の様子

○「流れる水の働き」や扇状地形成の実験

小学校の5年生で学習する「流れる水の働き」や、繰り返す土石流による扇状地の形成について実験



流れる水の働きの学習の様子



扇状地の学習の様子

○地質に関する展示

紀伊半島大水害時に那智川流域に被害をもたらしたコアストーンについて、紀伊山系砂防事務所から提供された説明パネルや標本サンプルを展示している。また、地質に関する学習のため「火成岩・堆積岩の岩石標本」を展示している。



地質に関する展示の様子



岩石標本

○土砂災害に関するRPG（ロールプレイング）

啓発センターが助言し、和歌山工業高等専門学校が開発した「土砂災害が発生したとき」を体験できるようゲームパッドを設置している。



ゲームパッド等の様子



ゲーム画面

○土砂災害警戒区域等の認知度向上

土砂災害警戒区域等の認知度向上のため、職員が作成した土砂災害警戒区域等の360°動画の展示を行うとともに、啓発センターYouTubeチャンネルで閲覧できるように公開している。また、県内の土砂災害警戒区域等を印刷した冊子を閲覧用に展示している。



360°動画の展示



啓発センターYouTubeチャンネル (QRコード)



県内の土砂災害警戒区域等の展示

○地元語り部（久保栄子さん）の被災体験紙芝居の上映

紀伊半島大水害の被災者の久保栄子さんが紙芝居を用いて自身の体験を語る動画（国際課の協力を受け英語字幕付き）を上映している。



被災体験紙芝居に関する展示

○パネル展示

6月の土砂災害防止月間の企画の一環として、平成30年よりパネル展示を開始した。
なお、各年度のテーマとテーマ選定理由は下記の通り。

平成30年度のテーマ：「砂防とは？」「和歌山県の砂防」

テーマ選定理由：和歌山県における砂防事業や関連する取り組みを周知する。

令和元年度のテーマ：「砂防とは？」「平成30年間の和歌山県の砂防」「平成の和歌山県
砂防誌」

テーマ選定理由：平成30年における和歌山県の砂防事業や平成の砂防誌について
周知する。

令和2年度のテーマ：「土砂災害から身を守るために」

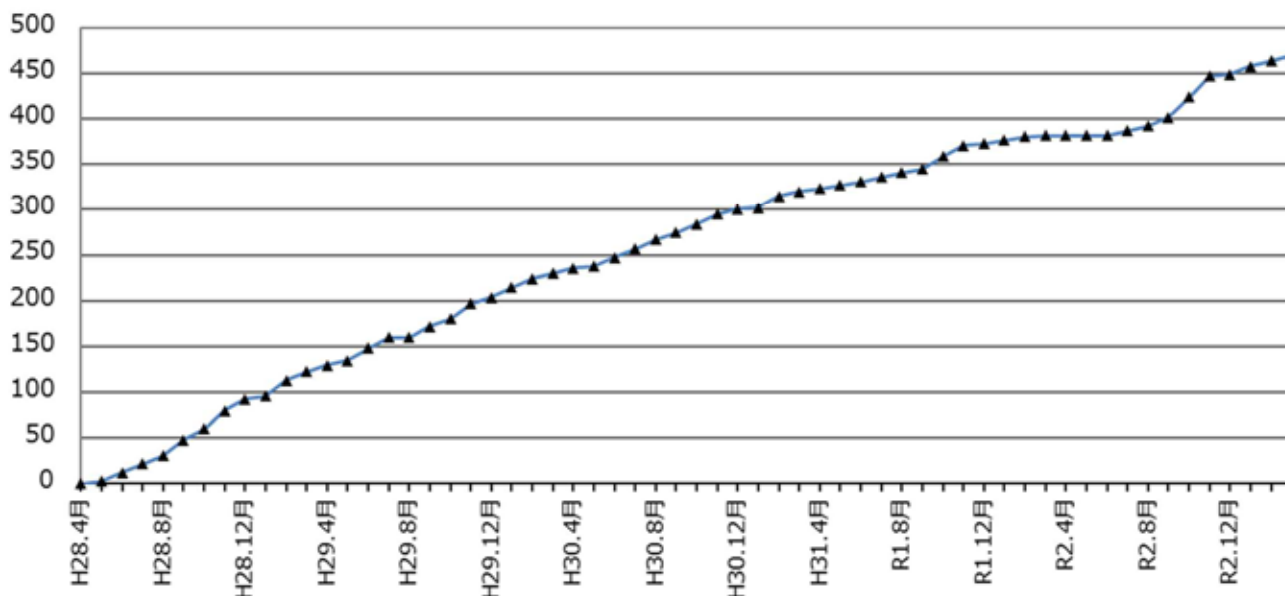
テーマ選定理由：警戒区域や土砂災害警戒情報など土砂災害から身を守るために知
って頂きたい内容について周知する。

(参考資料②参照)

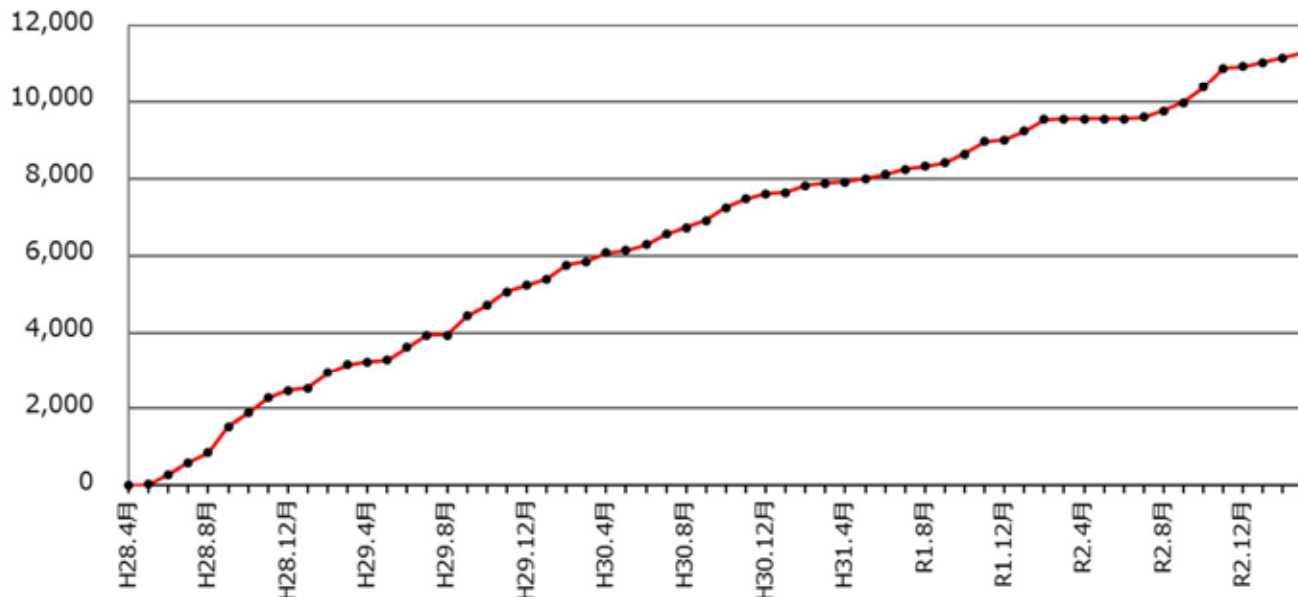
2-3 団体研修

令和3年3月31日現在の、累計研修回数は470回となっている。平成29年11月には累計研修受講者数が5,000名を超え、令和2年10月には10,000名に達し、令和3年3月31日現在の累計研修受講者数は11,274名である。

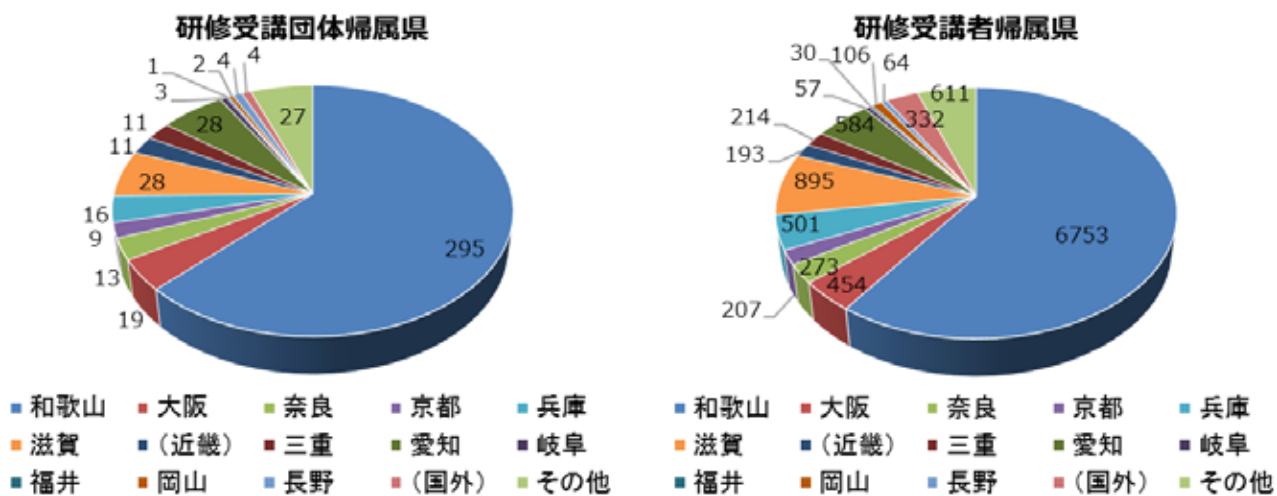
団体研修の累計実施数



団体研修の累計受講者数

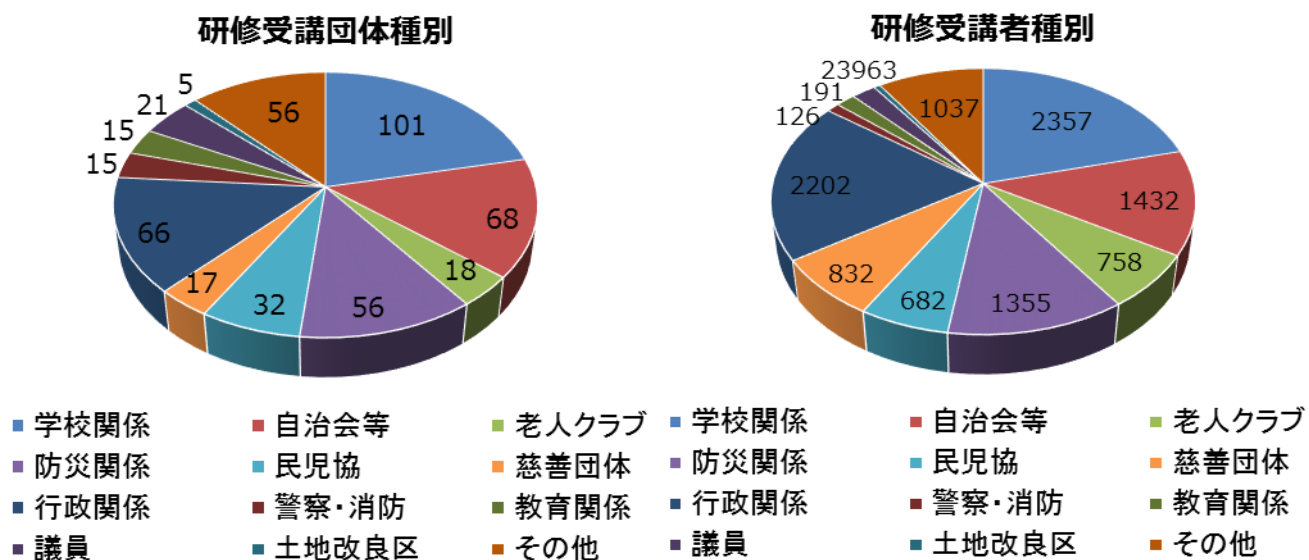


次に、研修受講団体の帰属県及び種別の累計を以下に示す。

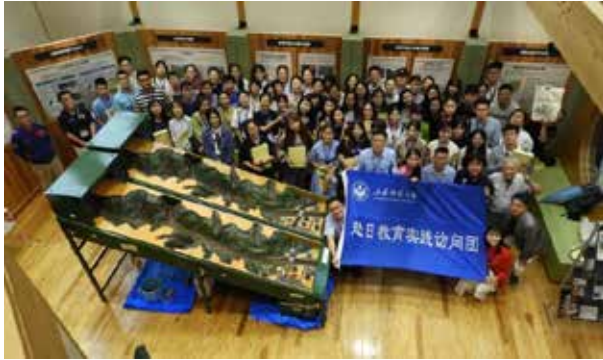


研修受講者のうち、和歌山県内の団体が最も多く、約 60%が占めている。また、その他近畿圏の団体が約 20%となっている。その他の地域では、愛知県が多く、5%を占めている。

また、累計の受講団体の種別を以下に示す。



研修受講者のうち、学生・児童と行政関係がそれぞれ約 20%を占める。次に、自治会や防災関係の団体が多い。



令和元年7月13日 山東師範大学



令和元年10月3日 名古屋市民生委員児童委員連盟守山区支部



令和元年10月21日 愛知県新城保健所



令和元年10月28日 大阪府岬町民生委員児童委員協議会

研修内容については、

- ・啓発センターについて
- ・土砂災害の概要及び予兆について
- ・紀伊半島大水害について
- ・深層崩壊について
- ・土砂災害防止法・土砂災害警戒区域について
- ・早期避難の重要性について
- ・災害後の取り組みについて

などを団体の種別により適宜組み合わせて題材としている。

また、ごく最近発生した土砂災害や過去に発生した各地の土砂災害を題材に取り上げることにより、土砂災害が身近な自然災害であることに留意して研修を行っている。

3. 多発する土砂災害 (平成30年の土砂災害)

土砂災害発生件数 **3,459件**

土石流等: 985件
 地すべり: 131件
 がけ崩れ: 2,343件

【被害状況】
 人的被害: 死者161名、負傷者117名
 人家被害: 全壊115戸、半壊566戸

北海道胆振東部地震 9/6
 台風24号 10/1
 平成30年7月豪雨 7/7

昨年(平成29年)は年間過去最多数を記録した平成16年の2,537件を上回り、集計を開始した昭和57年以降、**最多の土砂災害が発生**。

最近の土砂災害の例 (平成 30 年の土砂災害)

3. 多発する土砂災害 (令和元年の土砂災害)

台風19号による土砂災害発生状況 令和元年11月18日現在

土砂災害発生件数 **953件**

土石流等: 423件
 地すべり: 105件
 がけ崩れ: 425件

人的被害: 死者1名、負傷者1名
 人家被害: 全壊37戸、半壊177戸

北海道胆振東部地震 9/6
 台風19号 11/11

最近の土砂災害の例 (令和元年台風19号)

2. 滋賀県の土砂災害

滋賀県HPより

●多羅尾豪雨 (昭和28年8月14~15日)
 : 甲賀市信楽町多羅尾地区

多羅尾村では15日午後、河川が急速に増水し、随所に「山津波」が起き、立木もろとも土石が崩壊し、灌漑田畑を埋没あるいは開墾が押し流し、道路は寸断、全道はそのまま大川となって、灌漑の手続きすらなく、川のうちに死者44名、全半壊流失戸数が全村の3割といつは大きな被害をもたらしました。

人的被害	住戸被害
死者 44名	全壊家屋40戸
負傷者 9名	流出家屋 8戸
軽傷者121名	半壊家屋 6戸
	一部破損家屋18戸

02月23日 栗東市消防団第一分団

2. 福井県の土砂災害 (平成18年7月豪雨)

発生日時: 平成18年7月19日
 連続雨量: 398.5mm (7/16~19・福井)
 人的被害: 死者2名
 家屋被害: 全壊3戸、半壊1戸

がけ崩れ

福井県福井市中野1丁目

05月27日 福井県坂井市民生委員協議会

2. 神戸市の土砂災害

平成7年(1995)11月17日 阪神・淡路大震災

阪神淡路大震災では、壊くずれが378箇所発生し、特に、西宮市仁川百合野町において地すべりにより34名の犠牲者が生じた。被害が発生した。

住吉台の山腹崩壊(神戸市東灘区)

09月05日 神戸市兵庫区陽だまり

2. 名古屋市土砂災害

昭和34年9月26日、伊勢湾台風襲来。直撃を受け、愛知県では高潮・波浪による大災害が発生したが、土砂災害も301箇所におぼった。

伊勢湾台風

倒壊した龍泉寺公会堂

愛知県守山市の被害

- 死者15名、重傷者10名、軽傷者268名
- 全壊396戸、半壊1,579戸
- 床上浸水4戸、床下浸水356戸

『伊勢湾台風災害復旧計画書』(愛知県)

倒壊した日本毛織工場

倒壊した大森小学校南側校舎

名古屋市H.P. (守山で倒壊した過去の災害が再現)より

10月03日 名古屋市民生委員児童委員連盟守山区支部

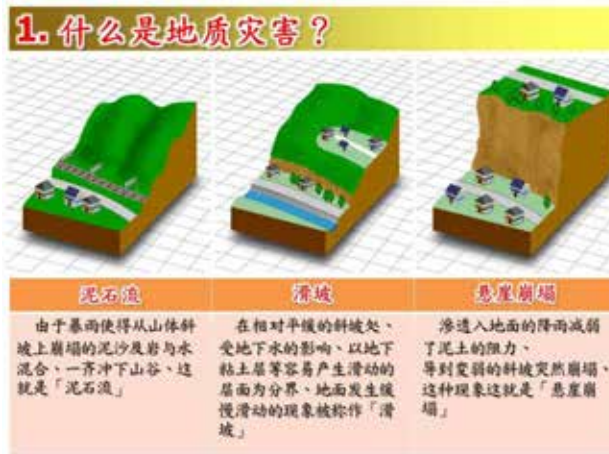


11月14日 長野県富士見町広原財産区

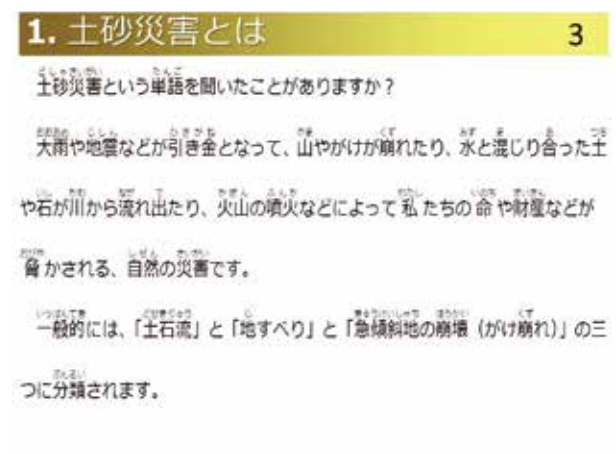


11月26日 岡山県吉備年輪の会

中国語による資料、またあいサポの一環としてPCによる要約筆記も作成した。



令和元年7月13日 山東師範大学



令和元年7月12日 那智勝浦町身体障害者連盟

(研修一覧については、参考資料③参照)

2-4 夏休み企画

平成29年からの新たな取り組みとして、那智勝浦町へ帰省する親子連れをターゲットに企画を行っている。

平成29年には「ふるさとの土砂災害を知ろう」という企画を行った。内容は以下の通り。

- ・DVD「土砂災害を知ろう」
- ・土砂災害に関するクイズ
- ・土石流模型装置を用いた砂防堰堤の施設効果の説明

期間は、8月11日から16日の6日間で、459人の参加があった。

8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日
35人	86人	123人	127人	40人	48人

平成30年度は「こまった土石流」という企画を行った。内容は以下の通り。

- ・DVD「こまった土石流」（山口県から借用）
- ・流水の働き実験器具を用いた崩壊・浸蝕・堆積の実験
- ・土砂災害に関するクイズ
- ・土石流模型装置を用いた砂防堰堤の施設効果の説明
- ・那智勝浦町イメージキャラクター「なっちー」の登場

期間は、8月12日から16日の6日間で、52人の参加があった。

8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日
17人	7人	4人	8人	16人



研修室2での「こまった土石流」の上映



「なっちー」の登場

令和元年には「紀伊半島のなりたち」という企画を行った。内容は以下の通り。

- ・DVD「土砂災害をよく知ろう（紀伊半島のなりたち）」の上映
- ・和歌山県内の各地で採取した岩石標本の展示（協力：一般社団法人関西地質調査業協会和歌山支部）
- ・土石流模型装置を用いた砂防堰堤の施設効果の説明
- ・和歌山県イメージキャラクター「きいちゃん」の登場

期間は、8月10日から16日の7日間で84人の参加があった（8月15日は台風の影響により休館）。

8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日
13人	18人	19人	17人	1人	休館	16人



「紀伊半島のなりたち」の説明の様子



岩石標本



きいちゃん登場

令和2年は「雨と土砂災害～雨のはかりかた、雨をもたらす雲とは？」という企画を行った。内容は以下の通り。

- ・雨の表現や計りかたを学ぼう
雨量はどのように測るのかを展示物で解説
- ・雨をもたらす雲について学ぼう
雨をもたらす雲の種類や、その動きかたについて展示物や動画で解説
- ・土砂災害とコアストーンについて学ぼう
コアストーンとは？そのできかたについて展示物で解説。
- ・DVD「こまった土石流」の上映
- ・土石流実験装置を用いた砂防ダムの効果・仕組みの説明

期間は、8月8日から16日の7日間で、675人の参加があった。

8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日
17人	101人	81人	93人	77人	131人	88人	78人	9人



作雨をもたらす雲の説明の様子



作土石流実験装置の様子

2-5 小学校・中学校への防災学習

2-5-1 取り組みについて

土砂災害に関する防災学習については、従来から全国的にも取り組みがなされている。特に平成29年度には小学校の学習指導要領が改訂され、水害や土砂災害等の自然災害に関する内容が充実し、今後、今まで以上に防災学習の取り組みが進められることが考えられる。

啓発センターでは、平成28年度～平成30年度に大規模土砂災害対策技術センターが行った試行学習からノウハウを取得し、地元の小学校と連携・協働して子どもたちが「自分ごととして考え・行動できる」ことを学習目標に、防災学習に取り組んでいる。

防災学習については、将来の防災の担い手となる子どもが知識を身に付けるだけでなく、子どもから家庭へ、さらには地域へと防災意識が普及する効果が期待できるため、センター活動の柱の一つと位置付け、今後も積極的に取り組む予定である。

【防災学習校・学習回数】

令和2年度には積極的な出前授業、修学旅行メニューへの組み込み、発達(学習)の段階に応じた防災学習などにきめ細かく取り組んだことにより、実施校31校(うち、高等学校3校)、学習回数58回(うち、高等学校3回)と前年に比べて急激に増加した。

防災学習実施の学校数 令和3年3月31日現在

	小学校	中学校	高等学校	計	学校の所在地		開催場所		開催数	修学旅行 学校数	国の試行 学習
					那智勝浦 町内	那智勝浦 町外	センター	学校等			
平成28年	3	2	0	5	2	3	5	0	5	0	有
平成29年	6	2	0	8	6	2	7	1	8	0	有
平成30年	3	2	0	5	2	3	4	1	5	0	有
令和元年	5	3	0	8	4	4	8	2	10	0	無
令和2年	17	11	3	31	6	25	20	38	58	11	無

※学年毎や複式学級別で実施しており、学校数より研修回数は多くなっている。

【防災学習に関する広報活動】

防災学習を県内全域に広めるため防災学習に関する広報活動を行なっている。令和元年度から始め、令和2年度は各市町村教育委員会での説明や、要望や打ち合わせにより学校長会や各学校にも出向き、土砂災害に関する防災学習の始動を促している。

日時		広報活動
令和元年度	令和元年7月29日	県内30全市町村の教育委員会に、土砂災害に関する防災学習の始動の促しと啓発センターの案内を周知。
令和2年度	令和2年7月29日	県内30全市町村の教育委員会に、土砂災害に関する防災学習の始動の促しと啓発センターの案内を周知。
	令和3年2月24日	翌年度の学校事業計画時期を考慮し、県内30全市町村の教育委員会に土砂災害に関する防災学習の始動の促しと啓発センターの案内を周知。
	令和3年2月26日	啓発センターの防災学習の取り組みが分かりやすいように、ホームページをリニューアルした。
	令和2年度中	県内25市町村(目標は30全市町村)の教育委員会を訪問し、土砂災害に関する防災学習の始動の促しと啓発センターの案内を周知。

2-5-2 学習方法について

これまでの活動により得られた課題等から、下記 1)~6)について配慮する事を基本に進めている。また、令和2年度は新しい取り組みとして、オンライン学習・ロールプレイングゲームを活用した防災学習にも取り組んでいる。

- 1) 各小中学校へ出向いての防災学習の実施や修学旅行の受け入れ
(出前授業などの希望にも配慮する。)
- 2) 各学校や各地域に合わせた教材による防災学習
(学校区別の啓発センター手作りハザードマップを用いた学習や、各地域で発生した災害の紹介等)

- 3) 防災学習前に教諭とのヒアリングを入念に実施
(授業の内容や時間については柔軟に対応)
- 4) 発達(学習)の段階に応じた防災学習の実施
(各学年に適した学習等)
- 5) 実験学習・現場体験による防災学習の実施
(実験の活用や、啓発センターと各学校近辺の砂防施設の調査等)
- 6) 学習後の感想文等を分析し、次回の防災学習に反映

2-5-3 防災学習のありかた

防災学習のあり方については、下記の3つの段階を各目標に対応しており、那智勝浦町の小学校では、中長期目標である「教諭が主体的に防災学習を実施する」段階に取り組んでいる学校もある。

第一段階：当面の目標

行政機関が教諭と協働し、県下全小中学校において防災学習を実施すること

第二段階：中長期目標

行政機関の支援の下、教諭が主体的に防災学習を実施すること

第三段階：理想

学校教育の一環として防災学習を教諭のみで実施されること

防災学習に早くから取り組んでいる那智勝浦町の市野々小学校では、大規模土砂災害対策技術センターの試行学習に携わり、教諭の中にも防災学習は「地域に発信すること」という考があり、下記ア～エの事例のような学校主体の防災学習の継続につながっている。

ア 3・4年生の「避難について考えよう」(令和2年度)

※啓発センターは、学区の地形図やハザードマップを手作りで作成し提供。当日は教諭の補助を行った。

イ 1・2年生の「どしゃさいがいからいのちをまもるためのほうほうをかんがえよう」 (令和2年度)

※啓発センターは実験の実施で教諭を補助した。

ウ 5・6年生の「市野々の未来を予想する」(令和元年度)

※五年生国語「グラフや表を用いて書こう」より、学習した土砂災害の統計データや地

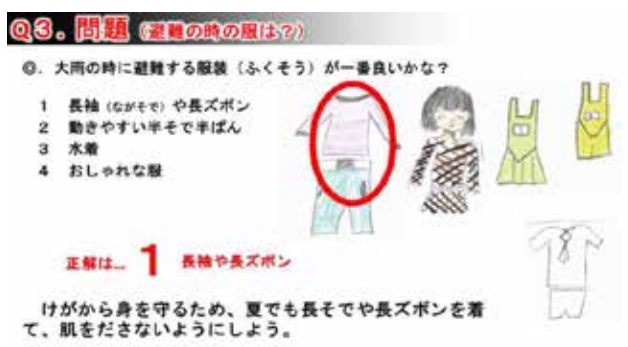
質図を活用し「市野々の未来を予想」を題に作文を作成・発表し、発表内容について学校で児童の意見交換。

※啓発センターからは砂防施設の整備状況等統計データを提供した。



エ 3・4年生 学んだことを地域に発信する

学んだことを地域に向けて発表(右は児童が作成した防災クイズ)



2-5-4 現在の目標と取り組みについて

今後も大規模土砂災害対策技術センターと協働しながら、下記の5点を柱に防災学習の取り組みを積極的に進める予定である。

- 1) 行政機関が教諭と協働し、県下全小中学校において防災学習を実施する。
(当面の目標)
- 2) 防災学習のキーパーソンとなる教諭を多くする。
- 3) 学習教材やコンテンツを充実する。
- 4) オンライン学習等新しい取り組みを進める。

5) 土砂災害学習を知ってもらう。

2-6 地域講演会

地域住民が土砂災害について考え、いざという時の安全かつ迅速な避難に役立てられることを目的に、平成 29 年より県内各地で地域講演会を開催しており、令和 2 年の紀の川市での開催までに計 6 回行っている。

(各回の詳細については参考資料④参照)

2-7 その他啓発活動

2-7-1 土砂災害防止月間

毎年 6 月は「土砂災害防止月間」となっているが、啓発センターにおいても展示スペースに垂れ幕及び館外に幟の掲出を行っている。また、参考資料②のパネル展示を行った。



2-7-2 和歌山工業高等専門学校との連携

令和 2 年度に、和歌山工業高等専門学校専攻科エコシステム工学専攻（辻原研究室）の西萩一喜氏が防災 RPG（ロールプレイングゲーム）「土砂災害が発生したとき」の開発を行うに際して、和歌山工業高等専門学校と連携してシナリオ検討を行った。

ゲームの内容は「主人公が楽しみにしていた遠足の当日に大雨が降り、大雨警報や土砂災害警戒情報、避難勧告などが出される中、安全なルートや行動を選んで避難所へ向かう」というもので、土砂災害についての基礎的な知識を楽しく学べる内容となっている。

また、完成した RPG を用いた防災学習を県内 6 小中学校（令和 3 年 3 月末現在）で行った。



ゲーム操作方法の説明



ゲームをする様子

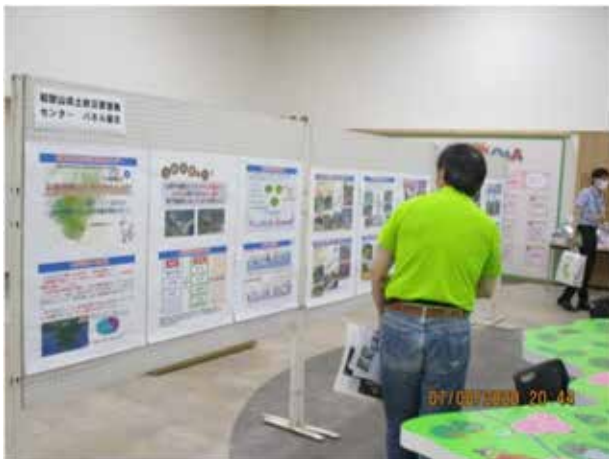


ゲームの画面

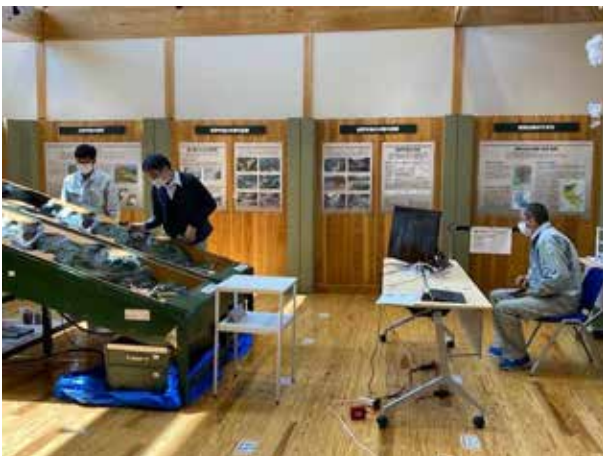
2-7-3 日高川町防災センターとの連携

令和2年9月に日高川町防災センター（以下、防災センター）で行われた水害写真展において、効果的な防災啓発活動を行うために、啓発センターのパネル40点を貸出し、防災センターの水害写真の展示と併せ土砂災害啓発パネルの掲示を行った。

また、令和3年3月に防災センターで行われた防災学習では、防災センターが行う避難パターションの実習と併せ、啓発センターにある土石流模型装置を使った実験をオンライン配信するなど、防災センターと連携した防災学習を行った。



防災センターでのパネル掲示

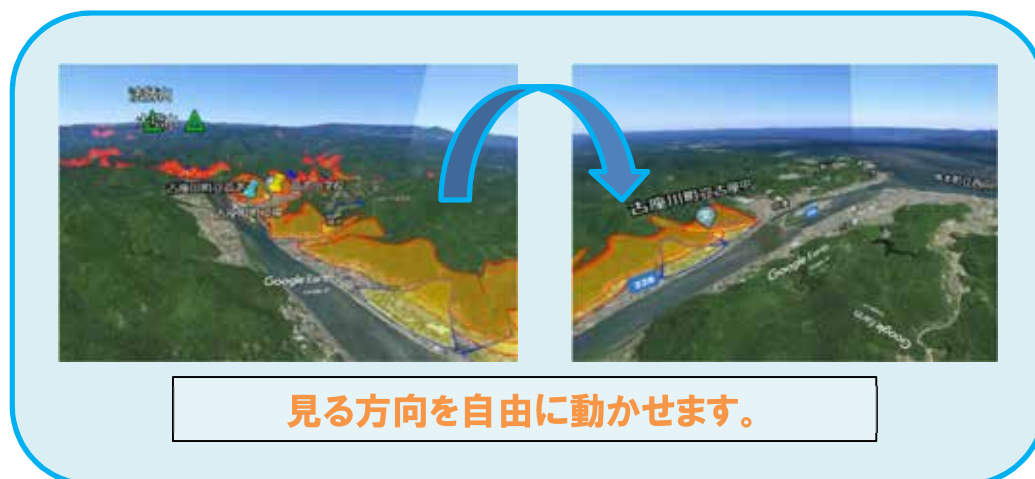


土石流模型装置を使ったオンライン学習の様子

2-7-4 土砂災害警戒区域認知度向上の取り組みなど

和歌山県砂防課では、土砂災害のおそれのある区域である「土砂災害警戒区域等」を、ホームページ（わかやま土砂災害マップ）等で公表している。令和2年度に、土砂災害警戒区域の更なる認知度向上を図るため、土砂災害警戒区域等を空から確認できる動画（市町村ごとの土砂災害警戒区域 360度動画）を作成し、YouTubeチャンネルで公開した。

その他、防災学習の授業にYouTubeなどを活用して、土石流の模型実験の様子等のライブ配信にも取り組んでいる。



参考：啓発センターYouTubeチャンネル

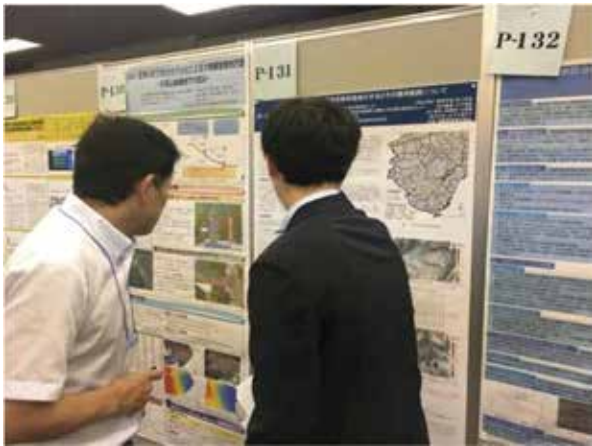


3. 調査・研究

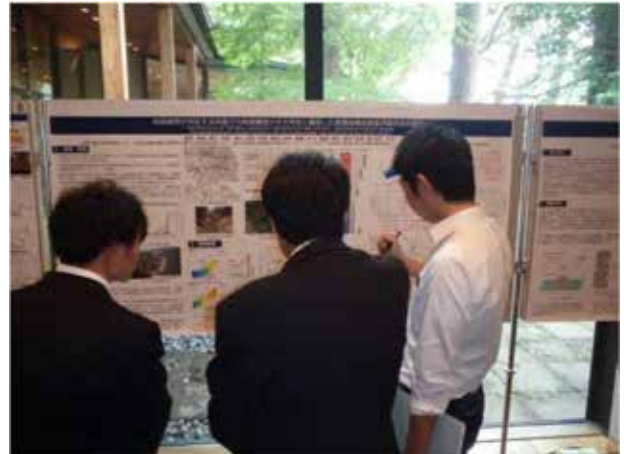
3-1 研究活動

啓発センターの2階には国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター（以下、技術センター）が入所し、土砂災害に関する研究活動を行っている。

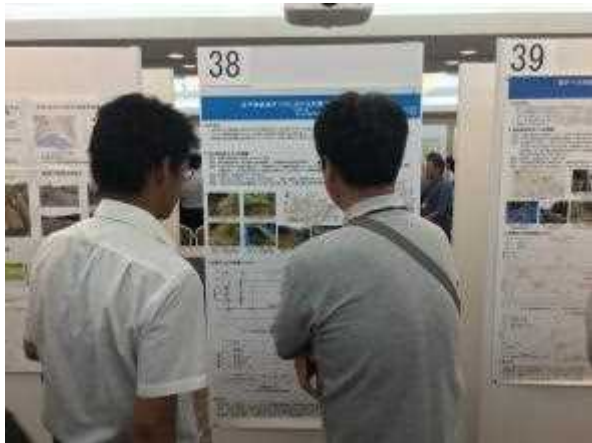
啓発センター職員も技術センターの職員の指導を受けながら調査研究を行うことで技術力の研鑽を図るとともに、研究成果を学会等で発表している。以下に研究発表実績一覧を示す。（学会誌への投稿論文および国際学会での発表内容については参考資料⑤参照）



砂防学会での発表状況



河川技術に関するシンポジウムでの発表状況



地すべり学会での発表状況



治山研究会での発表状況



MSD workshopでの発表状況



砂防学会関西支部オープンゼミの様子

啓発センター 研究一覧

通し番号	掲載年月	題名	著者・共著者	学会・雑誌名
1	2015.5	和歌山県内の深層崩壊発生斜面での水文・水質特性に関する研究	西岡恒志, 木下篤彦, 高原晃吉, 榎井直, 石塚忠範, 千束圭央	平成27年度砂防学会研究発表会
2	2015.9	災害時の流木の流出率に着目した治山堰堤の効果的な配置手法に関する検討	福田和寿, 西岡恒志, 榎井和男, 木下篤彦	第55回治山研究発表会
3	2016.5	深層崩壊危険斜面から湧出する湧水の水文・水質特性に関する研究	西岡恒志, 榎井和男, 福田和寿, 木下篤彦, 森加代子, 高原晃吉, 木野秀明	平成28年度砂防学会研究発表会
4	2016.5	災害時の流木の流出率に着目した治山堰堤の効果的な配置手法に関する検討	福田和寿, 西岡恒志, 榎井和男, 木下篤彦	平成28年度砂防学会研究発表会
5	2016.5	貴木川における流砂観測の紹介	榎井和男, 西岡恒志, 福田和寿, 木下篤彦, 内田太郎, 田中健貴	平成28年度砂防学会研究発表会
6	2016.9	ヒアリング調査を基にした平成23年那智川災害の避難行動に関する研究	榎井和男, 西岡恒志, 福田和寿, 坂口武弘, 木下篤彦, 今森直紀, 田中健貴, 島田敬	第8回土砂災害に関するシンポジウム
7	2016.9	深層崩壊危険斜面における水文・水質特性に関する研究	西岡恒志, 榎井和男, 福田和寿, 坂口武弘, 木下篤彦, 森加代子, 高原晃吉	第8回土砂災害に関するシンポジウム
8	2017.6	濁度成分の量と粒径に着目した流域内の崩壊監視手法に関する研究	榎井和男, 坂口武弘, 西岡恒志, 福田和寿, 島田敬, 田中健貴, 木下篤彦	2017年度河川技術に関するシンポジウム
9	2017.5	濁度成分の量と粒径に着目した流域内の崩壊監視手法に関する研究	榎井和男, 坂口武弘, 西岡恒志, 福田和寿, 山田真悟, 島田敬, 渡辺隆吉, 田中健貴, 木下篤彦	平成29年度砂防学会研究発表会
10	2017.5	データマイニングを用いた2011年9月4日那智川流域における土砂災害発生に係る重要因子の把握	坂口武弘, 西岡恒志, 榎井和男, 福田和寿, 木下篤彦, 田中健貴, 只熊典子, 海原庄一	平成29年度砂防学会研究発表会
11	2017.5	花崗斑岩巨礫の上に成林したスギ林の根系分布調査の試み	福田和寿, 坂口武弘, 西岡恒志, 榎井和男, 大野光一, 田中健貴, 木下篤彦	平成29年度砂防学会研究発表会
12	2017.5	降雨後のECの変化に着目した深層崩壊危険斜面の抽出方法に関する研究	西岡恒志, 榎井和男, 福田和寿, 坂口武弘, 田中健貴, 木下篤彦, 森加代子, 高原晃吉	平成29年度砂防学会研究発表会
13	2017.5	昭和28年有田川水害のクローンロジーと体験者証言から考察する今後の土砂災害対策	久田紹文, 西岡恒志, 福田和寿, 坂口武弘, 榎井和男, 木下篤彦, 田中健貴, 田内裕人, 後誠介, 江藤伸之	平成29年度砂防学会研究発表会
14	2017.8	表層崩壊が多発した那智川流域における水文・水質特性	西岡恒志, 坂口武弘, 森川智, 田中健貴, 木下篤彦, 加藤智久	第58回日本地すべり学会研究発表会
15	2017.9	花崗斑岩硬質土壌の上に成林したスギ林の根系分布調査の試み	長井達磨, 坂口武弘, 西岡恒志, 木下篤彦, 大野光一	第57回治山研究発表会
16	2018.5	降雨と湧水ECの関係に着目した深層崩壊危険斜面抽出手法に関する研究	西岡恒志, 榎原伴樹, 木下篤彦, 田中健貴, 海原庄一	平成30年度砂防学会研究発表会
17	2018.5	濁度成分の濁度滞留効果に着目した崩壊監視手法に関する研究	榎井和男, 西岡恒志, 榎原伴樹, 木下篤彦, 田中健貴	平成30年度砂防学会研究発表会
18	2018.5	地質境界付近の地下水水位変動と空中電磁探査結果に着目した表層崩壊危険斜面抽出の研究	坂口武弘, 西岡恒志, 榎原伴樹, 木下篤彦, 田中健貴, 河戸克志	平成30年度砂防学会研究発表会
19	2018.6	降雨と斜面の湧水の電気伝導度との関係に着目した深層崩壊危険斜面抽出手法に関する研究	西岡恒志, 榎原伴樹, 木下篤彦, 田中健貴, 海原庄一	2018年度河川技術に関するシンポジウム
20	2018.6	濁り成分の砂防堰堤水域での滞留過程に着目した崩壊・土石流発生監視手法に関する研究	西岡恒志, 榎井和男, 榎原伴樹, 崎山朋紀, 木下篤彦, 田中健貴	2018年度河川技術に関するシンポジウム
21	2018.6	那智川流域に学ぶ土砂災害啓発センターを活用した被害軽減への取り組みについて	崎山朋紀, 坂口武弘	平成30年度近畿地方整備局研究発表会
22	2018.8	住民・マスコミ・首長への地すべり発生状況及び対策工の効果の分かりやすい説明方法について	榎原伴樹, 崎山朋紀, 木下篤彦	第57回日本地すべり学会研究発表会
23	2018.9	表層崩壊危険斜面における空中電磁探査解析と地下水水位の変動に関する研究	榎原伴樹, 西岡恒志, 崎山朋紀, 坂口武弘, 木下篤彦, 田中健貴, 河戸克志	第9回土砂災害に関するシンポジウム
24	2018.10	Understanding of Important Factors Pertaining to Occurrence of Shallow Landslide in Nachi River Basin on September 4, 2011 Using the Data Mining Method	Takehiro Sakaguchi, Tsuneshi Nishioka, Kazuo Tsutsu, Kazuhisa Fukuda, Atsuhiko Kinoshita, Yasutaka Tanaka, Noriko Tadokuma, Soichi Kazura	インタープリバント2018
25	2018.10	Study on Method to Extract Hazardous Slopes for Deep-Seated Landslides, Focusing on Temporal Changes of EC	Tsuneshi Nishioka, Kazuo Tsutsu, Kazuhisa Fukuda, Takehiro Sakaguchi, Yasutaka Tanaka, Atsuhiko Kinoshita, Kayoko Mori, Teruyoshi Takahara	インタープリバント2018
26	2018.10	Study on Root System Distribution in a Japanese Cedar Plantation on Granite-Porphry gravel soil	Kazuhisa Fukuda, Tatsuma Nagai, Takehiro Sakaguchi, Tsuneshi Nishioka, Kazuo Tsutsu, Ryoichi Ohno, Yasutaka Tanaka, Atsuhiko Kinoshita	インタープリバント2018
27	2018.11	平成23年那智川水害時の消防団員の対応と今後の被害軽減の取り組み	西岡恒志, 榎井和男, 小楢邦雄, 榎原伴樹, 坂口武弘, 木下篤彦, 田中健貴	地すべり学会誌
28	2018.11	昭和28年有田川水害時の体験者証言より得られた土砂災害から身を守る避難行動についての教訓	西岡恒志, 榎原伴樹, 坂口武弘, 木下篤彦, 田中健貴	地すべり学会誌
29	2019.6	干渉SAR解析による崩壊危険斜面抽出手法とその適用範囲について	崎山朋紀, 榎原伴樹, 坂口武弘, 田中健貴, 木下篤彦, 江川真史, 佐藤匠, 久保毅, 鈴木大和, 山下久美子	2019年度河川技術に関するシンポジウム
30	2019.6	地質境界が存在する斜面での地質構造や水文特性に着目した表層崩壊危険度評価手法の提案	榎原伴樹, 崎山朋紀, 坂口武弘, 岸畑明宏, 田中健貴, 木下篤彦, 野池耕平, 松澤真, 河戸克志	2019年度河川技術に関するシンポジウム
31	2019.5	SAR干渉画像を用いた崩壊危険斜面抽出手法とその適用範囲について	崎山朋紀, 榎原伴樹, 坂口武弘, 田中健貴, 木下篤彦, 江川真史, 佐藤匠, 久保毅, 鈴木大和, 山下久美子	2019年度砂防学会研究発表会
32	2019.5	紀伊半島大水害の被災体験を子供達に伝承する活動について	坂口武弘, 坂口隆紀, 久保栄子, 新行靖	2019年度砂防学会研究発表会
33	2019.5	那智川流域における地質構造や水文特性に着目した表層崩壊危険斜面の抽出に関する研究	榎原伴樹, 崎山朋紀, 岸畑明宏, 坂口武弘, 田中健貴, 木下篤彦, 野池耕平, 松澤真, 河戸克志	2019年度砂防学会研究発表会
34	2019.8	地すべり対策工の効果の検証方法について	榎原伴樹, 崎山朋紀, 岸畑明宏, 坂口隆紀, 木下篤彦	第58回日本地すべり学会研究発表会
35	2019.10	SAR干渉画像を用いた斜面変動検出の試み	崎山朋紀, 榎原伴樹, 岸畑明宏, 坂口隆紀, 木下篤彦	第59回治山研究発表会
36	2019.10	Landslide Detection by InSAR Method Analysis and Its Range of Reach	Tomoki SAKIYAMA, Tomoki ENOHARA, Akihiro KISHIHATA, Takaki SAKAGUCHI and Atsuhiko KINOSHITA	9th MSD workshop, in Tsu

啓発センター 研究一覧

通し番号	掲載年月	題名	著者・共著者	学会・雑誌名
37	2019.10	Estimation of hydrogeological structure using airborne electromagnetic survey in the Iya, Tanabe city	Akihiro Kishihata, Takaki Sakaguchi, Tomoki Sakiyama, Tomoki Enohara, and Atsuhiko Kinoshita	9th MSD workshop, in Tsu
38	2019.10	A study on the characteristics of the slope with a risk of shallow landslides where the geological boundary exists	Tomoki Enohara, Tomoki Sakiyama, Akihiro Kishihata, Takaki Sakaguchi and Atsuhiko Kinoshita	9th MSD workshop, in Tsu
39	2019.10	Training Program of the Kii Peninsula Flood Experience and Its Effects on Students	Takaki SAKAGUCHI, Takehiro SAKAGUCHI, Eiko KUBO and Yasushi SHINGYO	9th MSD workshop, in Tsu
40	2020.5	人工衛星「しきさい」を活用した那智の滝上流域の水資源機能に関する研究	崎山朋紀, 宮崎徳生, 榎原伴樹, 岸畑明宏, 坂口隆紀, 木下篤彦, 柴田俊, 鈴木清敬, 鈴木大和, 中谷洋明	2020年度砂防学会研究発表会
41	2020.5	日置川水系、新宮川水系における放射性炭素年代測定結果を用いた深層崩壊発生頻度推定方法の検討	岸畑明宏, 坂口隆紀, 崎山朋紀, 榎原伴樹, 木下篤彦, 柴田俊, 小川内良人, 横山修, 田中健貴	2020年度砂防学会研究発表会
42	2020.5	地質境界付近の水文挙動が表層崩壊の発生に与える影響	榎原伴樹, 筒井和男, 崎山朋紀, 岸畑明宏, 坂口隆紀, 木下篤彦, 柴田俊, 松澤真, 田中健貴	2020年度砂防学会研究発表会
43	2020.5	和歌山県土砂災害啓発センターにおける防災教育の取り組みについて	坂口隆紀, 岸畑明宏, 榎原伴樹, 崎山朋紀, 柴田俊, 木下篤彦	2020年度砂防学会研究発表会
44	2020.6	コアストーンが分布する斜面の水文特性に関する研究	榎原伴樹, 筒井和男, 崎山朋紀, 岸畑明宏, 坂口隆紀, 木下篤彦, 柴田俊, 松澤真, 田中健貴	2020年度河川技術に関するシンポジウム
45	2020.6	紀伊半島大水害の被災体験の研修プログラムとその生徒への効果について	岸畑明宏, 坂口隆紀	令和2年度近畿地方整備局研究発表会
46	2020.8	水路実験による土砂移動時の地盤振動スペクトルと距離減衰に関する考察	筒井和男, 坂口隆紀, 海原荘一, 谷田佑太, 木下篤彦, 柴田俊, 金澤環, 中谷洋明, 里深好文, 藤本得光	第10回土砂災害に関するシンポジウム
47	2020.8	和歌山県土砂災害啓発センターにおける土砂災害に関する防災教育とその効果について	岸畑明宏, 坂口隆紀, 筒井和男, 宮崎徳生	第10回土砂災害に関するシンポジウム
48	2020.8	人工衛星「しきさい」を活用した那智の滝上流域の森林活力度と可能崩壊数値に関する研究	宮崎徳生, 筒井和男, 岸畑明宏, 坂口隆紀, 木下篤彦, 柴田俊, 鈴木大和, 中谷洋明, 鈴木清敬	第10回土砂災害に関するシンポジウム
49	2020.9	地すべり対策工の効果の簡易的な検証方法の提案	岸畑明宏, 榎原伴樹, 崎山朋紀, 坂口隆紀, 木下篤彦	地すべり学会誌
50	2020.11	和歌山県における山地災害教訓伝承の取組みについて	宮崎徳生, 筒井和男, 岸畑明宏, 坂口隆紀, 木下篤彦	第60回治山研究発表会
51	2021.1	土砂移動時の地盤振動の再現—模型実験からの考察—	筒井和男, 坂口隆紀, 海原荘一, 谷田佑太, 木下篤彦, 柴田俊, 金澤環, 中谷洋明, 里深好文, 藤本得光	砂防学会誌

3-2 現地調査

和歌山県内で発生した土砂災害（地すべりに起因する道路災害も含む）について、県や市町村からの依頼に基づき実施する技術センター職員による現地調査に同行し調査を行った。また、次頁以降に調査の一覧表を掲載する。



現地調査実施状況（紀の川市内）



現地調査実施状況（有田川町内）



現地調査実施状況（那智勝浦町内）



現地調査実施状況（海南市地内）

日時	路線・箇所名	事業実施主体	事業区分
2017年7月1日	立平地区（上富田町岩田）	上富田町	砂防
2017年9月25日	調月三和線（紀の川市桃山町最上）	紀の川市	道路
2017年10月30日	梅本川（紀美野町梅本）	紀美野町	砂防
2017年11月2日	上古沢地区（九度山町上古沢）	九度山町	砂防
2017年11月5日	奥佐々地区（紀美野町奥佐々）	紀美野町	砂防
2017年11月5日	東畑地区（海南市東畑）	海南市	砂防
2017年11月5日	海老谷地区（海南市海老谷）	海南市	砂防
2017年11月10日	荒見麻生津線・荒見北山線・竹房橋五百谷線（紀の川市）	紀の川市	道路
2017年11月30日	国道424号（有田川町瀬井地区）	有田川町	道路
2018年6月22日	町道井谷2号線（那智勝浦町川関地区）	那智勝浦町	道路
2018年7月12日	海南市東畑地区・海南市下津町塩津地区・和歌山市加太地区	和歌山県	砂防
2018年8月9日	紀の川市道竹房橋五百谷線（紀の川市竹房地区）	紀の川市	道路
2018年8月27日	田辺市道串峠平治川線（田辺市本宮町曲川地区）	田辺市	道路
2018年9月12日	阿尾地区（日高町阿尾地区）	和歌山県	砂防
2018年9月25日	古座川町道下露平井三河線（古座川町平井地区）	古座川町	道路
2018年9月26日	和歌山市道現地調査（和歌山市加太地区・有功地区）	和歌山市	道路
2018年10月26日	県道那智勝浦古座川線（那智勝浦町南平野地区）	和歌山県	道路
2018年11月20日	上富田町道王子谷線（上富田町岩田地区）	上富田町	道路
2018年11月21日	田辺市道串峠平治川線（田辺市本宮町曲川）	田辺市	道路
2018年11月21日	県道那智勝浦本宮線（那智勝浦町坂足地区）	和歌山県	道路
2018年11月30日	紀の川市道竹房橋五百谷線（紀の川市竹房地区）	紀の川市	道路
2019年2月15日	紀の川市道調月三和線（紀の川市桃山町調月地区）	紀の川市	道路
2019年4月17日	国道424号（有田川町瀬井地区）	和歌山県	道路
2019年8月26日	県道美里龍神線（有田川町三田地内）	和歌山県	道路
2019年8月26日	町道北入山上浦線（有田川町三瀬川地内）	有田川町	道路
2019年9月26日	古座川町道下露平井三河線（古座川町平井地区）	古座川町	道路
2019年10月30日	県道那智山勝浦線（那智勝浦町那智山）	和歌山県	道路
2019年12月5日	県道長野上秋津線（田辺市長野地内）	和歌山県	道路
2019年12月5日	田辺市道長野22号線（田辺市長野地内）	田辺市	道路
2019年12月5日	上富田町道王子谷線（上富田町岩田地区）	上富田町	道路
2019年12月9日	弥谷地区（日高川町弥谷地区・昭和28年有田川水害被災箇所）		砂防
2019年12月10日	南部川（みなべ町東本庄地内）	和歌山県	河川
2019年12月13日	国道424号（有田川町瀬井地区）	和歌山県	道路
2019年12月17日	紀の川市道竹房橋五百谷線（紀の川市竹房地区）	紀の川市	道路
2019年12月24日	日高川流域（昭和28年水害被災箇所）		砂防

日時	路線・箇所名	事業実施主体	事業区分
2019年12月25日	日高川流域（昭和28年水害被災箇所）		砂防
2020年2月7日	南部川（みなべ町東本庄地内）	和歌山県	河川
2020年2月7日	上富田町道王子谷線（上富田町岩田地区）	上富田町	道路
2020年7月9日	国道480号（有田川町遠井地内）他1箇所	和歌山県	道路
2020年7月6日	上富田町道王子谷線	上富田町	道路
2020年8月11日	皆ノ川線・五味2号線	田辺市	道路
2020年8月31日	南部川（みなべ町東本庄地内）	和歌山県	河川
2020年8月31日	サニータウン（和歌山市道）	和歌山市	道路
2020年12月2日	市道宮谷線（田辺市石船）・皆ノ川線・五味2号線（田辺市温川）	田辺市	道路
2021年3月1日	市道宮谷線（田辺市石船）・皆ノ川線・五味2号線（田辺市温川）	田辺市	道路

4. 大規模土砂災害対策研究機構会議

技術センターは、土砂災害防止に関わる人材育成や地域防災力の強化、防災知識普及のための広報や諸外国に向けての技術の発信といった取り組みを積極的に推進していくため、土砂災害や対策技術に関する高度な知見を有する大学や研究機関、ならびに警戒避難等災害対応にあたっている自治体から構成される「大規模土砂災害対策研究機構」（以下、研究機構）を平成26年度に設立した。

平成27年4月に第1回目となる機構会議が那智勝浦町で、令和元年11月には土砂災害啓発センター1F会議室において第4回目の機構会議が開催され、会議の後に現場視察が行われた。



会議の様子



現場視察の様子

5. 参 考 资 料

「大規模土砂災害対策研究機構」 設立シンポジウム を開催しました

～那智勝浦町から大規模土砂災害への新たな取り組みが始まります～

平成23年台風12号において大規模土砂災害により甚大な被害が生じた那智勝浦町において、土砂災害に関する高度な知見を有する大学や研究機関との連携を図り、研究を推進することを目的に、国・県・町と大学・研究機関からなる「大規模土砂災害対策研究機構」を設立することとなりました。

本機構における研究活動の本格的な開始を記念してシンポジウムを開催しました。

1. 開会挨拶

森近畿地方整備局長および下和歌山県副知事からの主催者挨拶に始まり、二階衆議院議員、鶴保参議院議員、門衆議院議員ならびに政治評論家の森田実氏から御挨拶をいただきました。

開催日時：平成26年7月21日（月・祝）

13:30～16:30

会場：那智勝浦町体育文化会館

主催：近畿地方整備局・和歌山県・那智勝浦町

来場者：約2000人



二階衆議院議員 来賓挨拶



鶴保参議院議員 来賓挨拶



門衆議院議員 来賓挨拶



森田実氏 来賓挨拶



下和歌山県副知事 挨拶



森近畿地方整備局長 挨拶



会場（那智勝浦町体育文化会館）

2. 「大規模土砂災害対策研究機構」 設立の紹介



大野砂防部長 経緯紹介

大野砂防部長より、機構設立の経緯および今後の取り組みについての紹介を行いました。

3. 除幕式

機構の設立を記念し、機構構成機関ならびに来賓による機構看板の除幕式を行いました。



機構看板除幕式

4. 基調講演

那智山青岸渡寺の高木副住職から「那智山の自然と信仰」と題して、那智川流域の自然、台風12号災害の経験、今後の地域づくりなどについての貴重な講演をいただきました。



高木副住職 基調講演

5. パネルディスカッション

「大規模土砂災害への新たな取り組み」をテーマに、機構に参加する研究機関によるパネルディスカッションを行いました。



コーディネーター
国土技術政策総合研究所
渡土砂災害研究部長

ディスカッションでは、各機関において取り組んでいる災害防止の取り組みや研究成果を紹介いただき、今後重点的に実施すべき調査研究の方向性、機構で取り組むべき内容、期待される成果について御提案をいただきました。



北海道大学
笠井准教授



三重大学
山田教授



京都大学
水山教授



和歌山大学
此松教授



(独) 土木研究所
小山内土砂管理研究
グループ長



近畿地方整備局
黒川河川部長

6. 閉会挨拶

寺本那智勝浦町長より閉会の御挨拶をいただきました。



寺本町長 挨拶

○企画展示

屋外展示スペースにおいて、災害対策本部車両および分解型バックホウの展示を行い、多くの来場者の興味を引きつけ、好評を得ました。



災害対策本部車両および分解型バックホウ

「大規模土砂災害対策技術センター」設立記念植樹式

シンポジウムの開催に先立ち、屋外スペースにおいて「大規模土砂災害対策技術センター」の設立を記念した植樹式を行いました。



技術センター設立記念植樹式

シンポジウムに御参加・各種御協力いただきましたみなさまに対してあつく御礼申し上げます。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山地砂防事務所 工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111



～大規模土砂災害による被害根絶に向けて～ 「大規模土砂災害対策技術センター入所 ・和歌山県土砂災害啓発センター竣工」記念式典が行われました

H28. 4. 24

4月24日(日)、近畿地方整備局・和歌山県・那智勝浦町主催で「大規模土砂災害対策技術センター入所・和歌山県土砂災害啓発センター竣工」記念式典が那智勝浦町で挙行了ました。

今後は、当センターを拠点に、深層崩壊など大規模土砂災害に関する調査研究を行うとともに、過去の災害の経験や教訓、調査研究により得られた成果等を活用し、県民の皆さんへの土砂災害に関する啓発活動を行います。

1. 開式挨拶等

山田国土交通省近畿地方整備局長・仁坂和歌山県知事・寺本那智勝浦町長からの主催者挨拶に始まり、二階衆議院議員・鶴保参議院議員・綿貫全国治水砂防協会会長から御祝辞をいただきました。



二階衆議院議員 来賓祝辞



鶴保参議院議員 来賓祝辞



綿貫全国治水砂防協会会長
来賓祝辞

2. 書籍寄贈

全国治水砂防協会より書籍の寄贈をいただき、知事から感謝状を贈呈しました。



目録の贈呈



山田国土交通省
近畿地方整備局長 挨拶



仁坂和歌山県知事 挨拶



寺本那智勝浦町長 挨拶



感謝状の贈呈

3. 研究結果報告・閉式

黒川国土交通省近畿地方整備局河川部長から、研究成果報告があり、前芝県議会議長が閉式の辞を行いました。



黒川センター長からの研究成果報告

4. テープカット・来賓内覧等

来賓および主催者により、テープカットおよび看板の除幕を執り行ったのちに、センターの内覧を行いました。



テープカットの様子



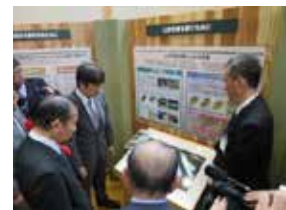
式典会場内の様子



前芝県議会議長 閉式の辞



来賓内覧の様子



来賓内覧の様子

砂防とは？

砂防とは、土砂災害から私たちの命や暮らしを守るためにおこなわれるさまざまな工事や施策のことです。

例えば、流れの急な川では、大雨などで水がふえると、水の方で川底や川岸の土砂が大量に削られ、それが下流に運ばれて**土砂災害**を引き起こすおそれがあります。そのため、削られた土砂が下流に運ばれるのを防ぐために**砂防堰堤**などの設備を作ったりします。土砂災害が起きてしまったときには、その復旧工事も行います。

また、土砂災害が起こりやすい場所がないか点検したり、土砂災害が発生してないか監視したりする仕事も行っています。さらに、土砂災害が起きるしくみについて研究したり、土砂災害についての正しい知識や、いざというときの避難のしかたなどを人々に伝えたりするのも、砂防の大切な仕事です。

参考：土砂災害防止広報センター HP

日高川水系 奥の谷川砂防堰堤(日高川町)



土砂災害防止月間
6/1→30

土砂災害防止月間とは？

住民が自分の命を守るべく、「みんなで防ごう土砂災害」をスローガンに、防災知識の普及や避難訓練などの催しを実施し、土砂災害による人命、財産を守ることを目的とした月間。

- ・梅雨期を目前にした毎年6月1日から30日
- ・昭和57年7月に発生した「昭和五十七年七月豪雨」(長崎大水害)が契機

○長崎大水害

・発生日 昭和57年7月23日

・原因 梅雨前線性豪雨

日 長与町役場では、23日午後8時までの1時間に187mmの雨量を記録(時間雨量の歴代最高記録)

日 外高町役場でも、23日午後8時までの2時間に288mmの雨量を記録(二時間雨量の歴代最高記録)

・同時多発型土砂災害

長崎大水害による人的被害の特徴は、鉄砲水が押し出し山腹の崩れや土石流を引き起こしたため、死傷者が多く発生した。県下の死者・行方不明者299人のうち土石流や山崩れなどの土砂災害による犠牲者は220人を占める

・記録的短時間大雨情報の創設

1時間に100ミリ前後の猛烈な雨が観測された場合に気象台から発表される「記録的短時間大雨情報」が創設された

表1 人的被害状況(人)

死者	行方不明者	重傷者	軽傷者
299	5	16	789

表2 住家被害状況(棟数)

全壊	半壊	一部破壊
584	954	1,111

(出典 内閣府HP)

土砂災害防止月間
6/1→30



「砂防の父」赤木正雄博士

○先生が砂防を志された動機

明治43年9月にわが国は台風により大水害を受けた。またま稚郷先から第一高等学校へ戻るべく上京の途中でこの水害に遭遇した。

その直後の始業式で新設戸籍課長は「わが国は今回のように度々の水害で多くの人命を失い産を流し耕地等を莫大に被害を受ける有様である。

.....(中略).....
思うに治水事業は決してはなばなしい仕事ではない。極めて地味な働きである。しかし人生は表に立って活躍するばかりが決して覇者ではない。よって誰か誰かのうち一人でも一生を治水に捧げて、毎年襲来するこの水害をなくすことに志を立てる者はないか」と訓示された。

校長の言葉を美々られる話の節々は、ついに閉居河川の水害で苦悶した私の心にひしひしと迫って、よし、私は治水に身を委ねよう。しかも河の原から治める道に従事しよう、とこの瞬間から**砂防を決意**した。(出典：新報一紙 より)



赤木正雄博士(砂防会館内)



日高川 日高川町
砂防堰堤として日本初の重要文化財

赤木正雄博士略歴

- 大正 3年 7月 東京帝国大学農科大学林学科卒業
- 15年 8月 8日 京都帝国大学農学部講師を嘱託せらる
- 昭和13年 8月12日 内務省土木局第3技術課長を命ぜらる
- 15年 2月25日 (社)全国治水砂防協会常務理事兼幹事に就任す
- 17年 3月24日 農務官一帯に叙せらる
- 21年 7月29日 貴族院議員に任ぜらる
- 22年 4月20日 参議院議員に当選す
- 23年10月26日 建設政務次官に任命せらる
- 23年11月12日 砂防工事と治水について天皇陛下に御講す
- 30年12月 2日 参議院建設委員会委員長に任命せらる
- 35年10月12日 建設事業功労者として勲章を授かる
- 39年 4月20日 勲二等に叙せられ勲章を授かる
- 46年11月 3日 文化勲章(文化功労者)を授かる
- 47年 9月24日 逝去

(出典：新報社、昭、昭昭49.1 より)

(一社)「砂防の父 赤木正雄顕彰会」
〒668-0843 兵庫県豊岡市弓野972 (駐車場あり)
TEL&FAX 0796-34-6517
開館日 会・土曜日の午前10時～午後3時(入館無料、事前予約可)

土砂災害防止月間
6/1→30

和歌山県の砂防史

和歌山県の砂防のあゆみ

- 明治41年 近代砂防工事の実験開始。
紀の川水茶山田川(橋本市)、穴伏川・松井川(紀の川市)、と左津川河内郡(田辺市)の4ヶ所で谷止工、橋樑工、水路工等主に山腹工事が施工された
- 昭和26年災害
死者13名、行方不明者411名、負傷者5,819名。特に、有田川流域では、崩壊箇所2,270箇所におよび中下流各支川の河床は5～20mの河床上昇をきたした
- 昭和29年 和歌山県土木部に砂防課設置
相続く災害から治水事業の重要性が叫ばれ、この年の8月、河津津砂防係から砂防課として独立
- 昭和30年 砂防利水課に変更
- 平成2年の機構改革により砂防利水課が砂防課になる
- 平成2年4月1日～9月30日「国際花と緑の博覧会」の「砂防ランド」に出展
- 平成6年8月23日～24日 国際SABOシンポジウム開催(世界リゾート博 期間7月16日～9月25日)
- 平成7年10月1日 新宮市御前地区において土石流発生。死者3名・負傷者3名・全半壊9戸
- 平成14年9月12日 土砂災害危険度情報・雨量状況配信開始
- 平成15年6月 危険箇所調査結果公表(約18,500箇所)
- 平成18年5月1日 土砂災害危険箇所・砂防指定地等をHPにて公表(土砂災害マップ)
- 平成18年5月24日 砂防学会和歌山大会を和歌山市にて開催
- 平成18年10月18日 日高川町の15箇所を土砂災害警戒区域指定
- 平成19年4月1日 土砂災害警戒情報運用開始
- 平成23年9月4日 紀伊半島大水害
- 平成25年10月8日 第45回(社)砂防学会シンポジウムを田辺市で開催
- 平成28年4月24日 「和歌山県土砂災害啓発センター」開所



土砂災害防止月間
6/1→30

和歌山県の砂防①

和歌山県の砂防の歴史

本県は県土の約80パーセントが急峻で脆弱な山地におおわれている上に、全国有数の多雨地帯に位置することから、土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害が毎年のように発生しています。そのため、明治41年以降、砂防事業を進めています。



新宮川水系 三穂川 (田辺市本宮町)
昭和2年 L=47.0m H=6.7m



左会津川水系 左会津川 (田辺市長野)
昭和26年 L=61.07m H=12.0m



切目川水系 大又川 (印南町)
昭和29年～30年



有田川水系 有中谷川 (かつらぎ町有田郡高橋)
昭和34年～36年 L=89.0m H=15.0m



有田川水系 壺川谷川 (有田町清水)
昭和29～46年
上段 H=13.0m L=60.0m
中段 H=6.4m L=40.0m
下段 H=8.3m L=46.0m

土砂災害防止月間
6/1～30

和歌山県の砂防②

新宮市磐盾の土石流 (平成7年10月1日)



平成7年10月1日 23時頃、和歌山県新宮市磐盾(いわいたて)で、土石流が発生しました。死者3名、負傷者3名、全壊4棟、半壊5棟の大災害となりました。

1. 土石流の概要

土石流は、郡野三山の一つ郡野遠玉大社の御神体・神倉山の山頂付近に発生した崩壊がアの土砂を巻き込み土石流となって一気に流下したものです。流下土砂量約5,000m³、流下距離約200mの土石流でした。

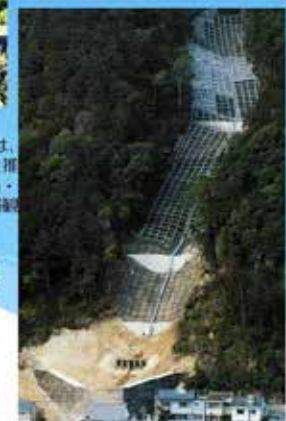
2. 雨量状況

低気圧により、1日に降り始めた雨は、21時から降り、土石流が発生したと推定される23時には、連続雨量280mm・直前1時間雨量82mm(京東弁響振興局観測)に達しました。

3. 復旧状況

平成7年～8年にかけて、災害関連緊急砂防事業及び災害関連緊急治山事業により復旧を行いました。

- ・埋戻工 1基
- ・流木捕捉工一式、法面工一式



土砂災害防止月間
6/1～30

和歌山県の砂防③

平成29年台風21・22号による土砂災害

台風21号・22号(平成29年10月21日～29日)により、紀北を中心に大規模な土砂災害が発生

高尾山 砂防	主石堤 3件
かつらぎ町 壺川	地すべり 6件
紀美野町 筒井	がけ崩れ 19件
	合計 28件



◎緊急対応事例



土砂災害防止月間
6/1～30

和歌山県の砂防④

砂防堰堤による土石流の捕捉事例

(那智勝浦町内の川)



(那智勝浦町赤高谷川)



土砂災害防止月間
6/1～30

和歌山県の砂防⑤

不動谷川通常砂防(透過型堰堤)



計画趣元	事業概要
位置 伊都郡高野町高野山 水系・河川名 紀の川水系 不動谷川 流域面積 3.48km ² 現況河床勾配 1/25 計画流量 97.14m ³ /sec	事業期間 平成7～13年度 事業内容 堰堤工1基 (堰高 14.5m・堰長 59.0m) 魚道工 L=16.0m 事業費 372,100千円

本堰堤の施工地は、高野龍神国定公園内であり、霊峰高野山への玄関でもある「南海電鉄極楽橋駅」の直上流に位置することから、景観にも配慮して視覚的に柔和さをもたせています。



南海電鉄極楽橋駅



和歌山県の砂防⑥

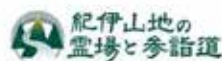
玉川砂防事業 (歴史的景観の保全)



霊峰高野山は、B16年弘法大師により開創され千百年にわたって我が国の一大聖地としてその法燈を守ってきています。その高野山のなかでも弘法大師廟のある奥の院を清らかに流下する玉川は、近年上流部で河岸浸食が進んでいたため、この対策として深流保全工を施工しました。歴史的環境を保全するよう、護岸は旧石積と同じものを使用しました。

位置	伊都郡高野町高野山
水系・河川名	紀の川水系 玉川
工期	昭和62年度～平成2年度
事業費	荒廃砂防事業 150百万円
工種・規模	深流保全工 L=943m

平成16年7月7日に、「紀伊山地の霊場と参詣道」が、日本で12番目の世界遺産として登録されました。



和歌山県の砂防⑦

環境に配慮した砂防



紀の川水系 長屋川 (紀の川市)
砂防環境事業



柳谷川 (田辺市)
砂防ランドスペース創出事業



紀の川水系 大谷川 (岩出市)
砂防パーク事業



新富川水系 なげり谷川 (新富市熊野川町)
間伐材残存型枠使用

有田川水系 有中谷川
(かつらぎ町花園染組)
紀州木の国事業



土砂災害から身を守るために

台風や大雨に備えて

①お住まいの場所が、土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域か確認する。

土砂災害の約6割は、「土砂災害危険箇所」「土砂災害警戒区域」で発生します。普段からお住まいの場所等が土砂災害の恐れがある区域に含まれているかどうか、和歌山県HPの「わかやま土砂災害マップ」(<http://sabomap.pref.wakayama.jp>)を確認しておきましょう。



雨が降り始めたら

②土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。

大雨による土砂災害発生の危険度が上がった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨量の動きと土砂災害警戒情報に注意しましょう。土砂災害警戒情報は、和歌山県や気象庁のホームページ、県の防災わかやまメール配信サービスや地デジのデータ放送で確認できます。



豪雨になる前に

③早めの避難。夜間に豪雨が予想される時は暗くなる前に避難。

・豪雨などで避難場所への避難が困難な際は、必ずしも安全ではありませんが、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難。さらに困難な際は、家の中のがけから離れた部屋や2階などに避難(重要避難)



砂防とは？

砂防とは、土砂災害から私たちの命や暮らしを守るためにおこなわれるさまざまな工事や施策のことです。

例えば、流れの急な川では、大雨などで水がふえると、水のかたで川底や川岸の土砂が大量に削られ、それが下流に運ばれて土砂災害を引き起こすおそれがあります。そのため、削られた土砂が下流に運ばれるのを防ぐために砂防堰堤などの設備を作ったりします。土砂災害が起きてしまったときには、その復旧工事も行います。

また、土砂災害が起こりやすい場所がないか点検したり、土砂災害が発生していないか監視したりする仕事も行っています。さらに、土砂災害が起きるしくみについて研究したり、土砂災害についての正しい知識や、いざというときの避難のしかたなどを人々に伝えたりするのも、砂防の大切な仕事です。

参考：土砂災害防止広報センター HP

太田川水系 赤倉谷川砂防堰堤(那智勝浦町)



土砂災害防止月間とは？

住民が自分の命を守るべく、「みんなで防ごう土砂災害」をスローガンに、防災知識の普及や避難訓練などの催しを実施し、土砂災害による人命、財産を守ることを目的とした月間。

- ・梅雨期を目前にした毎年6月1日から30日
- ・昭和57年7月に発生した「昭和五十七年七月豪雨」（長崎大水害）が契機

○長崎大水害

- ・発生日 昭和57年7月23日

・原因 梅雨前線性豪雨

旧 長与町役場では、23日午後8時までの1時間に137mmの雨量

を観測（時間雨量の歴代最高記録）

旧 外海町役場でも、23日午後8時までの2時間に286mmの雨量

を観測（二時間雨量の歴代最高記録）

・同時多発型土砂災害

長崎大水害による人的被害の特徴は、鉄砲水が噴出し山崩れや土石流を引き起こしたため、死傷者が多く発生した。県下の死者・行方不明者295人のうち土石流や山崩れなどの土砂災害による犠牲者は220人を占める

・記録的短時間大雨情報の創設

1時間に100ミリ前後の猛烈な雨が観測された場合に気象台から発表される「記録的短時間大雨情報」が創設された

表1 人的被害状況（人）

死者	行方不明者	重傷者	軽傷者
299	5	16	789

表2 住家被害状況（棟数）

全壊	半壊	一部破壊
584	954	1,111

（出典 内閣府HP）

土砂災害防止月間
6/1→30



平成30年間の和歌山県の砂防Ⅰ

平成元年から13年の出来事

土砂災害防止月間の創設

- ・平成2年の機構改革により砂防水利課が砂防課になる
- ・平成2年4月1日～9月30日「国際花と緑の博覧会」の「砂防ランド」に出展
- ① 平成6年度より環境に配慮した砂防事業を実施
 - ・唐谷川（日高川町）にてふるさと砂防事業を実施
 - ・柳谷川（田辺市）にて砂防ランドスペース創出事業が成功
 - ・大谷川（西出市）にて砂防パーク事業を実施
- ・平成6年8月23日～24日 国際SABOシンポジウム開催（世界リソート博 期間7月16日～9月25日）
- ・平成7年1月23日～26日 阪神淡路大震災被災地に支援チームを派遣し、急傾斜地崩壊危険箇所36ヶ所・土石流危険渓流26ヶ所の調査点検を実施
- ② 平成7年度より小浜井地区（太地町）・椎の浦地区（那智勝浦町）にて特定利用剣道保全事業を実施
- ・平成7年7月 梅雨前線に伴う集中豪雨にて土砂災害が多発。慶賀野川（橋本市）にて土石流、上同釜地区（高野町）・麻生津中地区（紀の川市）・西段地区（紀の川市）にてがけ崩れ、津川地区（紀美野町）、橋本地区（有田川町）にて地すべり発生
- ③ 平成7年10月1日 鶴橋地区（新宮市）において土石流発生。死者3名・負傷者3名・全半壊9戸
- ・平成13年3月28日 田口川砂防公園竣工式（吉備町）
- ・平成13年6～7月 梅雨前線に伴う集中豪雨にて土砂災害が多発。横前谷川（九度山町）にて土石流発生。負傷者6名・全壊家屋1戸



土砂災害防止月間
6/1→30

平成30年間の和歌山県の砂防Ⅱ

平成14年から31年の出来事

土砂災害防止月間の創設

- ・平成14年9月12日 土砂災害危険箇所情報・雨量状況調査開始
- ・平成15年6月 土砂災害危険箇所調査結果公表（約18,500箇所）
- ④ 平成15年8月 大白山（田辺市本宮町）にて地すべり発生
- ⑤ 平成16年7月7日 玉川（高野町高野山地区）の渓流保全工が世界遺産に登録
- ・平成17年10月1日 現代版「稲むらの火」避難誘導灯設置事業の現地実証実験を実施
- ・平成18年5月24日 （社）砂防学会和歌山大会を和歌山市にて開催
- ⑥ 平成18年8月1日 土砂災害危険箇所・砂防指定地等をHPにて公表（わかやま土砂災害マップ）
- ・平成18年10月18日 日高川町の15箇所を土砂災害警戒区域指定
- ⑦ 平成19年4月1日 土砂災害警戒情報運用開始
- ・平成20年2月19日 国土交通省近畿地方整備局が実施するコミュニケーション型行政コンテストにおいて「わかやま土砂災害マップ」が優秀賞を受賞
- ⑧ 平成23年9月4日 紀伊半島大水害 死者行方不明61名・重軽傷者6名
- ・平成25年10月8日 第45回（社）砂防学会シンポジウムを田辺市で開催
- ・平成28年4月24日 「和歌山県土砂災害防災センター」開所
- ⑨ 平成29年10月 台風21・22号により土砂災害28件、南海高野線上古沢駅付近で地すべり発生により翌年3月まで不通
- ⑩ 平成30年8～9月 台風20・21・24号により土砂災害多数発生



土砂災害防止月間
6/1→30

平成の和歌山県砂防史①

環境に配慮した砂防事業の実施



○砂防ランドスペース
創出事業
平成6年度完成
柳谷川(田辺市)

○砂防パーク事業
平成6年～7年
大谷川(岩出市)



○ふるさと砂防事業
平成7年～12年
猪谷川(日高川町)

土砂災害防止月間
6/1→30

平成の和歌山県砂防史②

特定利用斜面保全事業の実施



小長井地区
(太地町)
平成7年～12年



椎ノ浦地区
(那智勝浦町)
平成7年～11年

※特定利用斜面保全事業とは、斜面及びその周辺地域における土砂災害の未然防止を第一義として、地すべり対策事業・急傾斜地崩壊対策事業とその他の公共公益事業との調整によって、より望ましい斜面空間利用の誘導を図ることを目的とする。



土砂災害防止月間
6/1→30

平成の和歌山県砂防史③

新宮市磐盾の土石流(平成7年10月1日)



平成7年10月1日 23時頃、和歌山県新宮市磐盾(いわたて)で、土石流が発生しました。死者3名、負傷者3名、全壊4棟、半壊5棟の大災害となりました。

1. 土石流の概要

土石流は、熊野三山の一つ熊野五社の御神体・神倉山の山付近に発生した崩壊が沢の土砂を巻き込み土石流となって一気に南下したものです。流下土砂量約5,000m³、流下距離約200mの土石流でした。

2. 雨量状況

低気圧により、1日に降り始めた雨は、21時から強まり、土石流が発生したと推測される23時には、連続雨量280mm・直前1時間雨量82mm(関東弁慶観測所観測)に達しました。

3. 復旧状況

平成7年～8年にかけて、災害関連緊急砂防事業及び災害関連緊急治山事業により復旧を行いました。

- ・堰堤工1基
- ・流木捕捉工一式、法面工一式



土砂災害防止月間
6/1→30

平成の和歌山県砂防史④

田辺市本宮町大日山の地すべり(平成15年8月)

田辺市本宮町大日山の地すべり(平成15年8月)

田辺市本宮町本宮に位置する大日山では、平成15年8月の台風10号の襲来に伴う豪雨により幅約200m、長さ300m、移動土壌量126万m³の地すべりが発生し、和歌山県新宮市と奈良県を結ぶ国道168号が一時通行止めとなる等の被害が生じました。平成15年度より災害関連緊急地すべり対策事業等を実施し、排土工や集水井等を施工しましたが、熊野古道からの景観を回復するため緑化に努めているところです。



大斎原

紀伊山地の
霊場と参詣道

土砂災害防止月間
6/1→30

平成の和歌山県砂防史⑤

玉川砂防事業（歴史的景観の保全）



雲峰高野山は、816年弘法大師により開設され千百年にわたって我が国の一大聖地としてその法燈を守ってきました。その高野山のなかでも弘法大師廟のある奥の院を清らかに流下する玉川は、近年上流部で深流浸食が進んでいたため、この対策として深流保全工を施工しました。歴史的環境を保全するよう、護岸は旧石積と同じものを使用しました。

位置	伊都郡高野町高野山
水系・河川名	紀の川水系 玉川
工期	昭和62年度～平成2年度
事業費	荒廃砂防事業 150百万円
工種・規模	深流保全工 L=943m

平成16年7月7日に、「紀伊山地の霊場と参詣道」が、日本で12番目の世界遺産として登録されました。



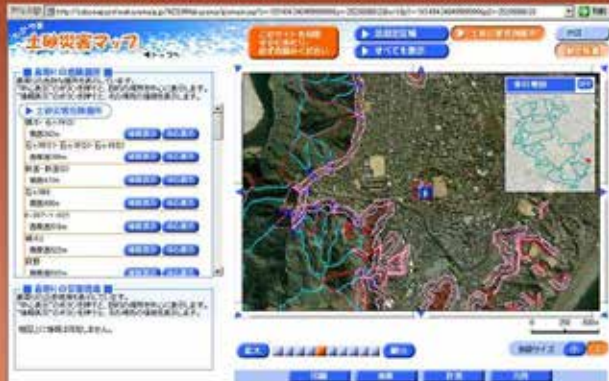
土砂災害防止月間 6/1→30



平成の和歌山県砂防史⑥

わかやま土砂災害マップ

○和歌山県では、土砂災害による被害を未然に防ぎ、被害を最小限に抑えるため、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害による被害のおそれのある「土砂災害危険箇所」を、平成18年8月1日に「土砂災害マップ」として、インターネット公開を行いました。（↓開設当初の画面）



- ・背景に航空写真を用いたことにより、視覚的に分かりやすい。（全国初）
- ・自宅や職場の位置を航空写真の中心に合わせることで、危険箇所のある場所の方向や距離が自動的に表示されるため、身の回りの危険箇所の把握が容易に出来る。（全国初）
- ・縮尺が1/2,500のため、より詳しい情報を提供できる（全国で2番目）
- ・砂防指定地や急傾斜地崩壊危険区域などの法指定地の範囲についても、併せて閲覧ができる。

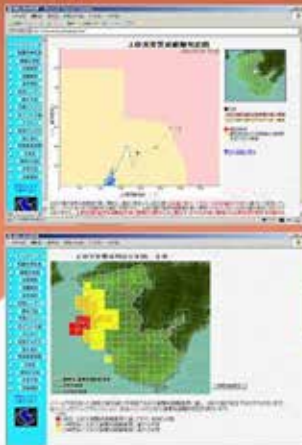
- その後、同年10月18日には「土砂災害警戒区域」の閲覧も可能となりました。
- 平成20年2月19日には、国土交通省近畿地方整備局が実施する「コミュニケーション型行政コンテスト」において優秀賞を受賞しました。

土砂災害防止月間 6/1→30

平成の和歌山県砂防史⑦

土砂災害警戒情報の発表を開始

○平成19年4月1日より、和歌山県は和歌山地方気象台と共同で「土砂災害警戒情報」の発表を開始しました。これに先立ち、3月16日に諒村曜氏（当時 和歌山地方気象台長）と和歌山県知事が共同記者会見を行いました。



また、「土砂災害警戒情報」を補完する情報として、「土砂災害警戒避難判定図」及び「土砂災害警戒判定分布図」を発表することとしました（全国初）。（←は当時の画面）

同年6月18日午前9時、最初の「土砂災害警戒情報」を白浜町・上富田町に発表し、午前9時35分、田辺市にも「土砂災害警戒情報」を発表しました。

土砂災害防止月間 6/1→30

平成の和歌山県砂防史⑧

紀伊半島大水害

大型で強い勢力を持った台風12号は、ひじょうにゆっくりとした速度で進み、8月30日からの総降水量は、紀伊半島を中心に広い範囲で1000mmを超え、田辺市大杉では2000mmに達しました。死者・行方不明者は61名、うち土砂災害による死者・行方不明者は37名にのぼり、家屋全壊・半壊59件の被害が発生しました。

また砂防・地すべり・急傾斜の砂防設備では、砂防堰堤や深流保全工が被災し36箇所、14億590万円の被害が発生しました。

土石流	57件
地すべり	4件
がけ崩れ	36件
合計	97件



土砂災害防止月間 6/1→30

平成の和歌山県砂防史⑨

平成29年の土砂災害

○台風21号・22号（平成29年10月21日・29日）により、紀北を中心に大規模な土砂災害が発生しました。

土石流 3件
地すべり 6件
がけ崩れ 19件
合計 28件



平成29年10月21日
南海電鉄運行停止

緊急対応事例

（紀美野町楠本地区）

（九度山町上古沢地区）



平成29年12月14日
遊歩道フェンス設置

平成29年12月15日
遊歩道撤去撤除

平成30年3月23日
アンカー工事完了

平成30年3月31日
南海電鉄運行再開

土砂災害防止月間
6/1→30

平成の和歌山県砂防史⑩

平成30年の土砂災害

○平成30年は台風20号・21号・24号が襲来するなど61件の土砂災害が発生しました。



紀美野町
今西202

新宮町浦川
（橋地）

新宮町浦川西
（摩立台川）

出辺市上丹後
（高屋台2）

がけ崩れ

新宮町浦川
（中島川）

土石流

土砂災害防止月間
6/1→30

砂防とは？

砂防とは、土砂災害から私たちの命や暮らしを守るためにおこなわれるさまざまな工事や施策のことです。

例えば、流れの急な川では、大雨などで水がふえると、水力で川底や川岸の土砂が大量に削られ、それが下流に運ばれて土砂災害を引き起こすおそれがあります。そのため、削られた土砂が下流に運ばれるのを防ぐために砂防堰堤などの設備を作ったりします。土砂災害が起きてしまったときには、その復旧工事も行います。

また、土砂災害が起こりやすい場所がないか点検したり、土砂災害が発生していないか監視したりする仕事も行っています。さらに、土砂災害が起きるしくみについて研究したり、土砂災害についての正しい知識や、いざというときの避難のしかたなどを人々に伝えたりするのも、砂防の大切な仕事です。

参考：土砂災害防止広報センター HP

太田川水系 赤島谷川砂防堰堤（新宮町浦川）



土砂災害防止月間
6/1→30

「砂防の父」赤木正雄博士

○先生が砂防を志された経緯
明治43年9月にわが国は台風により大水害を受けた。たまたま博覧会から第一高等学校へ戻るべく上京の途中でこの水害を受けた。
その直後の卒業式で新潟県建設局長は「わが国は今年のように度々の水害で多くの人命を失い家を流し耕地等を荒し莫大な被害を受ける有様である。
……(中略)……
思うに治水事業は決してはなばなしい仕事ではない、極めて地味な働きである。しかし人生は夜に立って決断するばかりが決して最善ではない。よって誰か誰かのうち一人でも一生を治水に捧げて、粗年粗年するこの水害をなくすことに志を立てる者はないか」と訓示された。
校長の言葉を養えられる時の節々は、ついこの間酒田川の水害で苦悶した私の心にひびくと響いて、よし、私は治水に身を委ねよう、しかも河の源から治める道に従事しよう、この瞬間から砂防を決意した。
(出典：砂防一書 より)



赤木正雄像(砂防会館内)



富山県 白川堰 (砂防会館として日本初の重要文化財)

赤木正雄博士略歴
大正3年7月 東京帝国大学農科大学林学科卒業
15年8月8日 京都帝国大学農学部講師を嘱託せらる
昭和13年8月12日 内務省土木局第3技術課長を命ぜらる
15年2月25日 (社)全国治水砂防協会常務理事兼幹事に就任す
17年3月24日 高等官一等に叙せらる
21年7月29日 貴族院議員に任ぜらる
22年4月20日 参議院議員に当選す
23年10月26日 建設政務次官に任命せらる
23年11月12日 砂防工事と治水について天皇陛下に御進講す
30年12月2日 参議院建設委員会委員長に任命せらる
35年10月12日 建設事業功労者として藍綬褒章を授かる
39年4月29日 勲二等に叙せられ瑞宝章を授かる
46年11月3日 文化勲章(文化功労者)を授かる
47年9月24日 逝去
従三位勲一等に叙せられ瑞宝章を授かる
(出典：砂防会館、砂防一書、砂防243、257)

(一社)「砂防の父 赤木正雄顕彰会」
〒668-0843 兵庫県豊岡市引野972 (駐車場あり)
TEL&FAX 0796-34-6512
開館日 金・土曜日 午前10時～午後3時 (入館無料、事前予約制)



土砂災害から身を守るために

みんなで防ごう 土砂災害
土砂災害防止月間 6/1→30
がけ崩れ防災週間 6/1 ▶ 7

土砂災害から身を守るために 土砂災害防止月間とは?

住民が自分の命を守るべく、「みんなで防ごう土砂災害」をスローガンに、防災知識の普及や避難訓練などの催しを実施し、土砂災害による人命、財産を守ることを目的とした月間。
・梅雨期を目前にした毎年6月1日から30日
・昭和57年7月に発生した「昭和五十七年七月豪雨」(長崎大水害)が契機

○長崎大水害
・発生日 昭和57年7月23日
・原因 梅雨前線性豪雨

表1 人的被害状況(人)

死者	行方不明者	負傷者	避難者
299	5	16	709

表2 住家被害状況(棟数)

全壊	半壊	一部破損
584	954	1,111

(出典：内閣府HP)



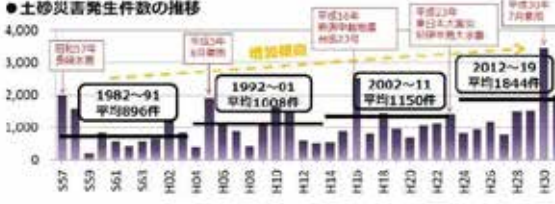
土砂災害の発生件数

○土砂災害は、日本全国で年間(過去38年平均)何件くらい発生しているのでしょうか?

- A. 約11件
 - B. 約110件
 - C. 約1,100件
 - D. 約11,000件
- 正解は **C**
(国土交通省集計)



雨と土砂災害



紀伊半島大水害(平成23年)

大層で強い勢力を持った台風12号は、ひじょうにゆっくりとした速度で、8月30日からの総降水量は、紀伊半島を中心に広い範囲で1000mmを超え、田辺市大粒では2000mmに達しました。死者・行方不明者は61名、うち土砂災害による死者・行方不明者は37名にのぼる。豪雨大津・半壊50件の被害が発生しました。また紀伊半島半島、2084名の避難者が出た。総防除費や緊急復旧費が被災し36億円、14億500万円の被害が発生しました。



多発する土砂災害(和歌山県:平成30年)



○平成30年は台風20号・21号・24号が襲来するなど61件の土砂災害が発生しました。

多発する土砂災害 (全国: 令和元年) (1)

土砂災害発生件数 【過去状況】
 土砂災害: 478件
 死者・行方不明者: 23名
 けが者: 99名
 けが者: 1,419件
 全壊: 77戸、半壊: 74戸

梅雨前線 7/4
台風5号 7/21
秋雨前線 8/23
秋分前線 9/23
台風12号 10/12
秋分前線 10/12
台風13号 10/13
東日本台風 10/28

和歌山県 和歌山地方気象台

多発する土砂災害 (全国: 平成30年) (2)

土砂災害発生件数
 土砂災害: 985件
 死者・行方不明者: 131名
 けが者: 2,343件
 【過去状況】
 人的被害: 死者151名、行方不明者117名
 人的被害: 全壊415戸、半壊560戸

平成30年7月豪雨 7/6
台風24号 10/1
北海道 記録豪雨 8/6

平成16年の2,537件を上回り、集計を開始した昭和57年以降、最多の土砂災害が発生。

2 危険なタイミングを知る「土砂災害警戒情報」(5)

警戒レベル	土砂災害に関する情報	避難情報等	住民が取るべき行動
5	(大雨特別警報)	災害発生情報	命を守るための最善の行動
4	土砂災害警戒情報	避難勧告 避難指示(緊急)	避難場所への避難
3	大雨警報(土砂災害) 土砂災害に関するメッシュ情報(注意)	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者等は避難場所へ避難 その他の者は避難準備・自発的に避難
2	土砂災害に関するメッシュ情報(注意)	洪水注意情報 大雨注意情報	避難に備え自らの避難行動を確認
1		警戒級の可能性	災害への心構えを高める

2 危険なタイミングを知る「土砂災害警戒情報」(6)

早めの避難。夜間に豪雨が予想される時は暗くなる前に避難。

大雨警報(レベル3相当)が発表された際には、避難に時間を要する人(ご高齢の方・乳幼児をお連れの方等)は避難を開始。その他の者は避難準備もしくは自発的に避難【**避難準備・高齢者等避難開始**】

土砂災害警戒情報(レベル4相当)が発表された際には、(土砂災害警戒区域内の人は)直ちに全員避難。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難【**避難勧告、避難指示(緊急)**】

・大雨特別警報(レベル5相当)が発表された際には、すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動【**災害発生情報**】←情報収集・発令・伝達には困難な状況

2 危険なタイミングを知る「土砂災害警戒情報」(1)

「土砂災害警戒情報」ってなに?

→和歌山県と和歌山地方気象台が共同で発表する土砂災害に関する防災情報です。テレビ和歌山などで情報が発表されています。

→発表されると**市町村長は直ちに避難勧告等を発令**することが基本とされています。

●避難が行われ、難を逃れた事例(東広島市)
 【災害発生状況】

- 約50件ある人家のうち、全半壊約10戸、床下浸水約20戸
- 人的被害無し

【災害の経緯】
 7月6日 17:50 土砂災害警戒情報発表
 19:45ごろ 避難指示(緊急)発令
 7月7日 5:30ごろ 土石流発生

2 危険なタイミングを知る「土砂災害警戒情報」(2)



2 危険なタイミングを知る「土砂災害警戒情報」(3)

土砂災害警戒情報や雨量の情報調べる

テレビでの調べ方
→テレビ和歌山のデータ放送から確認できます。

インターネットでの調べ方
→「和歌山県河川・雨量防災情報」のページから確認できます。

http://www.maf.go.jp/wakayama/ig_jp/air/Map.html

2 危険なタイミングを知る「土砂災害警戒情報」(4)

土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する

防災わかやまメール配信サービスに登録!

気象情報、河川水位情報、雨量情報、避難勧告などの情報を携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせするサービスです。無料で登録できますのでぜひご利用ください。

regis@bosai.wakayama.jp

防災わかやまメールサービス
 1. 登録申し込み
 2. 登録完了メール受信
 3. 登録完了メール受信
 4. 防災情報を送信

参考資料③ 団体研修実施一覧表

回	開催日	団体名	人数	都道府県	研修時間(分)	内容(表題)
1	H28.5.15	那智勝浦町消防団	16	和歌山	30	「土砂災害から身を守るために」
2	H28.5.22	那智勝浦町字久井消防団	14	和歌山	45	「土砂災害から身を守るために」
3	H28.5.23	徳島県勝浦町議会	11	徳島	70	「土砂災害から身を守るために」
4	H28.6.5	那智勝浦町防災訓練	108	和歌山	30	「土砂災害から身を守るために」
5	H28.6.7	市野々婦人会研修	23	和歌山	45	「土砂災害から身を守るために」
6	H28.6.8	橋本市高野口地区民生児童委員協議会	22	和歌山	45	「土砂災害から身を守るために」
7	H28.6.9	三重県紀宝町飯盛自主防災会	24	三重	90	「土砂災害から身を守るために」
8	H28.6.9	和歌山市消防局視察	2	和歌山	70	館内案内など
9	H28.6.10	新宮車輿妻商工会議所・商工会職員協議会	18	和歌山	60	地域防災、地域振興を考える
10	H28.6.15	那智幼少年婦人防火委員会	24	和歌山	60	「土砂災害から身を守るために」
11	H28.6.17	南紀くろしお商工会	23	和歌山	90	地域防災、地域振興を考える
12	H28.6.21	那智勝浦町立色川中学校	12	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
13	H28.7.4	兵庫県西宮市消防団	6	兵庫	45	「土砂災害から身を守るために」
14	H28.7.4	愛知県岡崎市井田学区町内会	27	愛知	50	「土砂災害から身を守るために」
15	H28.7.5	兵庫県小野市老人クラブ連合会	122	兵庫	30	「土砂災害から身を守るために」
16	H28.7.6	大阪府河内長野市川上地区老人クラブ連合会	38	大阪	55	「土砂災害から身を守るために」
17	H28.7.7	愛知県豊田市区長役員会	30	愛知	70	「土砂災害から身を守るために」
18	H28.7.8	大阪府羽曳野市河原城婦人会	25	大阪	55	「土砂災害から身を守るために」
19	H28.7.26	九度山町立九度山中学校卓球部	17	和歌山	20	映像上映・館内案内
20	H28.7.28	近畿地方整備局紀伊山地砂防事務所	6	(近畿)	60	キャンプ砂防
21	H28.7.29	東牟婁振興局中本建設部	9	和歌山	100	「土砂災害から身を守るために」
22	H28.7.30	兵庫県伊丹市鴻池自治会	20	兵庫	25	映像上映・館内案内
23	H28.8.3	和歌山県議会建設委員会視察	11	和歌山	60	「土砂災害から身を守るために」
24	H28.8.4	紀の川市役所危機管理課	17	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
25	H28.8.5	和歌山県観光交流課視察	3	和歌山	30	館内案内など
26	H28.8.8	日高川町区長会連絡協議会	12	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
27	H28.8.19	有田川町消防団	15	和歌山	70	「土砂災害から身を守るために」
28	H28.8.21	滋賀県赤十字奉仕団(甲良町)	43	滋賀	90	「紀伊半島大水害の被害状況と消防団の活動状況」 「紀伊半島大水害時の被害の実体験談」
29	H28.8.25	愛知県観光交流課 修学旅行視察	10	愛知	30	館内案内など
30	H28.8.25	滋賀県赤十字奉仕団(長浜市長浜)	80	滋賀	75	「紀伊半島大水害の被害状況と消防団の活動状況」 「紀伊半島大水害時の被害の実体験談」
31	H28.8.28	滋賀県赤十字奉仕団(甲賀市土山・湖南市石部)	73	滋賀	60	「紀伊半島大水害の被害状況と消防団の活動状況」 「紀伊半島大水害時の被害の実体験談」
32	H28.9.4	滋賀県赤十字奉仕団(近江八幡)	62	滋賀	60	「紀伊半島大水害の被害状況と消防団の活動状況」 「紀伊半島大水害時の被害の実体験談」
33	H28.9.5	滋賀県赤十字奉仕団(愛荘町愛知川)	39	滋賀	60	「紀伊半島大水害の被害状況と消防団の活動状況」 「紀伊半島大水害時の被害の実体験談」
34	H28.9.6	和歌山県自由民主党県議団砂防事業推進議員連盟研修会	32	和歌山	150	「土砂災害啓発センターについて」
35	H28.9.6	岐阜県海津市商工会観光部会	10	岐阜	50	「土砂災害から身を守るために」
36	H28.9.8	(株)建設技術研究所(社員技術研修)	8	大阪	225	土砂災害に係る職員の技術研修
37	H28.9.10	防災カフェ	33	和歌山	120	観光+防災=防災ジオツアー ～シオパークを利用した地域防災の近い学習～
38	H28.9.11	滋賀県赤十字奉仕団(甲賀市水口)	87	滋賀	70	「紀伊半島大水害の被害状況と消防団の活動状況」 「紀伊半島大水害時の被害の実体験談」
39	H28.9.14	熊野・那智ガイドの会	16	和歌山	25	映像上映・館内案内
40	H28.9.14	滋賀県赤十字奉仕団(日野町)	68	滋賀	60	「紀伊半島大水害の被害状況と消防団の活動状況」 「紀伊半島大水害時の被害の実体験談」
41	H28.9.16	J R西日本和泉砂川職員(大阪府泉南市)	6	大阪	80	「土砂災害から身を守るために」
42	H28.9.24	滋賀県赤十字奉仕団(東近江市蒲生)	63	滋賀	60	「紀伊半島大水害の被害状況と消防団の活動状況」 「紀伊半島大水害時の被害の実体験談」
43	H28.9.25	田辺市中部民生児童委員	16	和歌山	60	館内案内など
44	H28.9.27	滋賀県赤十字奉仕団(多賀町・車近江市)	59	滋賀	60	「紀伊半島大水害の被害状況と消防団の活動状況」 「紀伊半島大水害時の被害の実体験談」
45	H28.9.28	滋賀県栗東市金勝学区民生児童委員協議会	13	滋賀	50	「土砂災害から身を守るために」

回	開催日	回体名	人数	都道府県	研修時間(分)	内容(表題)
46	H28.9.28	徳島県吉野川市鴨島天寿会連合会	91	徳島	80	「土砂災害から身を守るために」
47	H28.9.30	田辺市立新庄中学校	55	和歌山	110	被災体験の紙芝居など
48	H28.9.30	田辺市龍神村区長連合会	19	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
49	H28.10.1	兵庫県伊丹市荒牧老人会	47	兵庫	30	「土砂災害から身を守るために」
50	H28.10.1	滋賀県野洲市矢倉町内会	15	滋賀	60	「土砂災害から身を守るために」
51	H28.10.3	南紀くろしお商工会 郡支部女性	42	和歌山	135	地域防災、地域振興を考える
52	H28.10.6	和歌山県議会農林水産委員会視察	11	和歌山	30	映像上映・館内案内など
53	H28.10.6	紀の川市社会福祉協議会	25	和歌山	85	「土砂災害から身を守るために」
54	H28.10.7	和歌山県建設技術協会	47	和歌山	90	館内案内など
55	H28.10.8	ジオパークガイド研修会	10	和歌山	60	「地球史・人類史・生態学から防災について考える」
56	H28.10.9	ジオパークガイド研修会	7	和歌山	65	「地球史・人類史・生態学から防災について考える」
57	H28.10.15	防災カフェ	35	和歌山	100	「情報通信技術を用いた災害時支援システム」
58	H28.10.21	日高町自主防災会連絡協議会	18	和歌山	70	「土砂災害から身を守るために」
59	H28.10.23	海南市婦人消防隊連絡協議会	34	和歌山	70	館内案内・スライド鑑賞など
60	H28.10.26	かけ協全国地すべり現地討論会	60	和歌山	60	
61	H28.11.1	長崎県諫早市諫早湾自治連合会	24	長崎	40	映像上映・館内案内など
62	H28.11.8	独立行政法人国際協力機構(JICA)視察	23	東京	135	「土砂災害啓発センターについて」
63	H28.11.9	日高町民生児童委員協議会	25	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
64	H28.11.10	和歌山県総務部市町村課	2	和歌山	55	映像上映・館内案内など
65	H28.11.10	県下の私立中学高等学校の校長および保護者会会長	22	和歌山	100	「土砂災害から身を守るために」
66	H28.11.11	京都府亀岡市民生委員協議会	18	京都	90	「土砂災害から身を守るために」
67	H28.11.11	紀の川市粉川福祉防災ボランティア協会	15	和歌山	100	「土砂災害から身を守るために」
68	H28.11.13	那智勝浦町天満婦人会	10	和歌山	45	館内案内・プロジェクト鑑賞
69	H28.11.13	上富田町教育委員会	40	和歌山	69	「土砂災害から身を守るために」
70	H28.11.14	兵庫県篠山市丹南地区自治会長会	32	兵庫	80	「土砂災害から身を守るために」
71	H28.11.15	防災ジオツアー研修会	18	和歌山	75	フィールド事前学習
72	H28.11.17	兵庫県西宮市鳴尾連合自治会	28	兵庫	60	「土砂災害から身を守るために」
73	H28.11.18	千葉県我孫子市議会	3	千葉	70	「土砂災害から身を守るために」
74	H28.11.18	大阪府阪南市阪南岬火災予防協会	27	大阪	80	「土砂災害から身を守るために」
75	H28.11.19	防災カフェ	25	和歌山	140	「皆さんが地域ではどんな災害のリスクがあるかな」
76	H28.11.25	岐阜県揖斐川町谷汲地区区長会	16	岐阜	90	「土砂災害から身を守るために」
77	H28.11.25	西日本旅客鉄道株式会社 新宮駅	10	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
78	H28.11.25	日高郡美浜町区長会	16	和歌山	95	「土砂災害から身を守るために」
79	H28.11.26	日高川町女性防災士会	21	和歌山	95	「土砂災害から身を守るために」
80	H28.11.30	みなべ町議会	14	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
81	H28.12.6	奈良県老人会	37	奈良	50	「土砂災害から身を守るために」
82	H28.12.7	わかやま市民生活協同組合	8	和歌山	60	「土砂災害から身を守るために」
83	H28.12.7	J Aならけん都祁支店区長総代会	17	奈良	40	「土砂災害から身を守るために」
84	H28.12.8	橋本市隅田地区区長会	9	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
85	H28.12.8	滋賀県野洲市中里兵主学区自治連合会	17	滋賀	70	「土砂災害から身を守るために」
86	H28.12.10	独立行政法人国際協力機構(JICA)	20	東京	95	「砂防対策・地域防災計画」
87	H28.12.10	和歌山県学校事務職員制度研究会	7	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
88	H28.12.10	防災カフェ	26	和歌山	120	「土砂災害のための小型探索ロボットシステム」
89	H28.12.11	防災ジオツアー	20	和歌山	30	「2016・防災ジオツアーを始めるにあたって」
90	H28.12.11	那智勝浦町消防第4分団	14	和歌山	35	「土砂災害から身を守るために」
91	H28.12.14	三重県砂防ボランティア協会	11	三重	75	「土砂災害から身を守るために」
92	H28.12.16	奈良市精華地区自治連合会	10	奈良	95	「土砂災害から身を守るために」

回	開催日	団体名	人数	都道府県	研修時間(分)	内容(表題)
93	H28.12.21	千葉県かつら市・徳島県かつら町	8	千葉・徳島	55	「土砂災害から身を守るために」
94	H29.1.19	那智勝浦町立市野々小学校 防災授業	11	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
95	H29.1.21	防災カフェ	27	和歌山	120	「紀伊半島大水害」
96	H29.1.22	日高郡美浜町吉原防災地区	22	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
97	H29.2.2	土砂災害防止会議	40	(全国)	150	
98	H29.2.3	新宮市教育研究会校長部会	6	和歌山	60	「土砂災害から身を守るために」
99	H29.2.6	京都府八幡市自主防災推進協議会	19	京都	60	「早稲道難と避難支援」
100	H29.2.6	滋賀県長浜市長田町役員	9	滋賀	55	「土砂災害から身を守るために」
101	H29.2.6	奈良県桜井市阿部連合会	9	奈良	55	「土砂災害から身を守るために」
102	H29.2.7	那智勝浦町自主防災組織連絡協議会	32	和歌山	65	「土砂災害から身を守るために」
103	H29.2.8	日本共産党県議団	5	和歌山	165	「土砂災害から身を守るために」
104	H29.2.14	三重県川越町老人クラブ連合会役員	24	三重	65	「土砂災害から身を守るために」
105	H29.2.14	和歌山大学	4	和歌山	65	「土砂災害から身を守るために」
106	H29.2.14	田辺市立本宮小学校視察	2	和歌山	55	「土砂災害から身を守るために」
107	H29.2.16	地域講演会 in 那智勝浦町	150	和歌山	150	
108	H29.2.17	九度山町議会	7	和歌山	65	「土砂災害から身を守るために」
109	H29.2.19	兵庫県尼崎市園部地区 園友会	41	兵庫	60	「土砂災害から身を守るために」
110	H29.2.22	白浜町総務文教厚生常任委員会	9	和歌山	85	「土砂災害から身を守るために」
111	H29.2.24	有田町ボランティア連絡協議会 金屋支部	22	和歌山	135	「土砂災害から身を守るために」
112	H29.2.27	切目川下流域河川改修促進協議会	15	和歌山	85	「土砂災害から身を守るために」
113	H29.2.28	紀の川市桃山区長会	17	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
114	H29.3.2	田辺市立本宮小学校4年	6	和歌山	60	「土砂災害を考える」
115	H29.3.2	和歌山県治水林道協会 東牟婁支部	18	和歌山	110	「土砂災害について」
116	H29.3.4	色川の防災シオツアー	22	和歌山	25	ツアースケジュールと大型模型水路の説明
117	H29.3.5	上富田町市ノ瀬公民館	27	和歌山	55	展示物の実演説明など
118	H29.3.9	防災会議(東牟婁振興局)	15	和歌山	135	防災会議
119	H29.3.10	田辺市立三里小学校	15	和歌山	60	展示物の説明・大型模型水路実験
120	H29.3.17	機構会議	32	(全国)	270	各機関の研究活動報告
121	H29.3.23	いきいきサロン浦神	21	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
122	H29.3.25	新宮市婦人団体連絡協議会	43	和歌山	72	「土砂災害から身を守るために」
123	H29.3.26	田辺市中芳養町内会	14	和歌山	108	「土砂災害から身を守るために」
124	H29.4.3	那智勝浦町新規採用職員視察	12	和歌山	30	映像上映・館内案内
125	H29.4.4	東牟婁振興局視察	4	和歌山	20	館内案内・大型模型水路実験
126	H29.4.4	和歌山県河川・下水道局視察	3	和歌山	30	館内案内
127	H29.4.7	新宮信用金庫新入社員	9	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
128	H29.4.11	和歌山県自然環境室視察	3	和歌山	55	「土砂災害防災センターについて」
129	H29.4.25	白浜町観光建設農林常任委員会	9	和歌山	100	「土砂災害から身を守るために」
130	H29.4.26	奈良県広陵町老人クラブ連合会	24	奈良	46	「土砂災害から身を守るために」
131	H29.5.2	新宮市立高田中学校	10	和歌山	45	「土砂災害から身を守るために」
132	H29.5.16	田辺市南部地区民生児童委員協議会	13	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
133	H29.5.20	御坊市身体障害者福祉協会	15	和歌山	100	「土砂災害から身を守るために」
134	H29.5.22	北山村村議会	6	和歌山	50	「土砂災害から身を守るために」
135	H29.5.29	豊田市下山民生委員	13	愛知	75	「土砂災害に対する知識教訓を学ぶ」
136	H29.6.4	神戸市東灘区住吉交友会	80	兵庫	40	「土砂災害を、考える」
137	H29.6.5	豊田市石野地区区長会	24	愛知	90	「土砂災害から身を守るために」
138	H29.6.11	砂防学会 関西支部	45	(近畿)	360	「土砂災害から身を守るために」
139	H29.6.12	豊田市藤岡・藤岡南区長会	24	愛知	75	「土砂災害について」
140	H29.6.12	那智勝浦町社会福祉協議会	37	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」

回	開催日	団体名	人数	都道府県	研修時間(分)	内容(表題)
141	H29.6.13	国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所	9	(近畿)	30	大規模土砂災害対策工事の現場見学会
142	H29.6.14	大和郡山市高井地区民生児童委員協議会	14	奈良	70	「土砂災害から身を守るために」
143	H29.6.17	京都府京北町建設業共同組合	18	京都	45	「土砂災害から身を守るために」
144	H29.6.19	那智勝浦町立色川小学校	10	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
145	H29.6.26	橋本市紀見地区 区長会	20	和歌山	80	「土砂災害防止について」
146	H29.6.26	亀岡市消防団	23	京都	75	「土砂災害から身を守るために」
147	H29.6.27	那智勝浦町立市野々小学校	16	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
148	H29.6.29	新宮市立高田小学校5・6年	8	和歌山	61	「土砂災害から身を守るために」
149	H29.7.2	愛知県東海市消防団幹部研修会	16	愛知	70	「土砂災害から身を守るために」
150	H29.7.7	高本建設株式会社	15	長野	40	「土砂災害から身を守るために」
151	H29.7.12	朗栄会(日高川町)	18	和歌山	70	「土砂災害から身を守るために」
152	H29.7.13	(株)ルミネクリエーツ	10	東京	35	防災シオツアー概要 大型模型水路実験
153	H29.7.17	印南町民生児童委員協議会	25	和歌山	91	「土砂災害から身を守るために」
154	H29.7.18	静岡県藤枝市自治会高洲支部	37	静岡	65	「土砂災害から身を守るために」
155	H29.7.19	浜松市浜北区自主防災隊連合会 第1班	65	静岡	90	「土砂災害から身を守るために」
156	H29.7.20	(株)ルミネクリエーツ	10	東京	35	防災シオツアー概要
157	H29.7.21	佐良福寿会(滋賀県近江八幡市)	23	滋賀	60	「土砂災害から身を守るために」
158	H29.7.26	浜松市浜北区自主防災隊連合会 第2班	65	静岡	95	「土砂災害から身を守るために」
159	H29.7.28	紀伊半島3県 県議会 視察(和歌山・奈良・三重)	20	和歌山・奈良・三重	55	「紀伊半島大水害」とその後の取組について
160	H29.7.30	砂防学会研究会	8	東京	45	「土砂災害から身を守るために」
161	H29.9.3	防災学習「市小防災の日」	70	和歌山	120	「紀伊半島大水害」とその後の取組について
162	H29.9.3	泉佐野市民生委員児童委員協議会	89	大阪	145	「土砂災害から身を守るために」
163	H29.9.5	富田林市水利組合連合会	20	大阪	95	「土砂災害から身を守るために」
164	H29.9.7	立命館大学 歴史都市防災研究所	25	京都	105	「土砂災害から身を守るために」
165	H29.9.8	立命館大学 歴史都市防災研究所	25	京都	60	ディスカッション
166	H29.9.9	土砂災害対策技術センター会議	20	(全国)	90	ディスカッション
167	H29.9.9	紀伊半島大水害から6年！シンポジウムを開催！！～改めて土砂災害を知り、備える～	150	和歌山	140	「近年の土砂災害を振り返って～その特徴と対策～」 「大規模土砂災害対策技術センターの取り組み」 「土砂災害に関する研究の最新情報から」 「パネルディスカッション」 「開発・適化する集落に対する課題のあり方」
168	H29.9.13	那智勝浦町立下里中学校	52	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
169	H29.9.19	紀宝町民生児童委員協議会	30	三重	75	「土砂災害から身を守るために」
170	H29.9.21	東牟婁振興局 地域振興部 局長	9	和歌山	140	「土砂災害から身を守るために」
171	H29.9.22	那智勝浦町消防本部	3	和歌山	50	「紀伊半島大水害時の消防活動について」
172	H29.9.27	奈良県職員(土木技術職員)	9	奈良	120	「土砂災害から身を守るために」
173	H29.9.28	田辺市本宮地区民生児童委員協議会	11	和歌山	105	「土砂災害から身を守るために」
174	H29.10.4	新宮警察署	15	和歌山	85	「土砂災害から身を守るために」
175	H29.10.5	東牟婁振地方小中学校事務研究協議会	22	和歌山	95	「土砂災害から身を守るために」
176	H29.10.7	地域講演会 in 有田川町	120	和歌山	135	和歌山で進める防災！oT
177	H29.10.11	新宮市熊野川地区民生委員児童委員協議会	9	和歌山	110	「土砂災害から身を守るために」
178	H29.10.11	秋田県議会建設委員会	9	秋田	90	「土砂災害から身を守るために」
179	H29.10.12	(一社)近畿建設協会	20	(近畿)	70	「紀伊半島大水害とその後の取組」
180	H29.10.13	長野県上松町議会	15	長野	85	「土砂災害から身を守るために」
181	H29.10.18	Slope Tectonics Conference	50	京都	45	「啓発センターでの取り組みについて」
182	H29.11.2	紀の川市桃山民生委員児童委員協議会	24	和歌山	85	「土砂災害から身を守るために」
183	H29.11.5	市野々地区自主防災組織	24	和歌山	120	「土砂災害から身を守るために」
184	H29.11.7	福岡県議会警察委員会	16	福岡	60	「土砂災害から身を守るために」
185	H29.11.9	茨城県福敷地方広域市町村圏事務組合	20	茨城	75	「土砂災害から身を守るために」

回	開催日	団体名	人数	都道府県	研修時間(分)	内容(表題)
186	H29.11.11	ワダイの防災カフェ	20	和歌山	100	「防災によるコミュニティづくり」
187	H29.11.14	三原振興局長会議	15	和歌山・奈良・三重	130	「土砂災害啓発センターの紹介と紀伊半島大水害の概要説明」
188	H29.11.14	日韓砂防会議(国交省)	15	(日韓)	80	館内見学・取り組み紹介
189	H29.11.15	西牟婁郡 身体障害者連盟	36	和歌山	95	「土砂災害から身を守るために」
190	H29.11.15	国土交通省近畿地方整備局	8	(近畿)	240	「啓発センターでの取り組みについて」
191	H29.11.17	紀宝町社会福祉協議会	9	和歌山	110	「土砂災害から身を守るために」
192	H29.11.18	古座川渓流塾	26	和歌山	45	「土砂災害から身を守るために」
193	H29.11.19	みなべ町芝崎区婦人会・役員会合同	26	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
194	H29.11.21	水士里ネットワークの会	21	愛知	35	「土砂災害から身を守るために」
195	H29.11.23	白浜町中央公民館橋分館	20	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
196	H29.11.24	近畿不動産鑑定協会連合会	16	(近畿)	150	「土砂災害から身を守るために」
197	H29.11.27	広川町議会	7	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
198	H29.11.30	国土交通省近畿地方整備局	44	(近畿)	150	道路保線式建設機械講習会
199	H29.12.3	紀の国防災人づくり塾	40	和歌山	155	「土砂災害から身を守るために」
200	H29.12.7	奈良葛城自治会	12	奈良	75	「土砂災害から身を守るために」
201	H29.12.8	和歌山県高等学校定時制PTA連合会	15	和歌山	90	「那智川流域の備前について」 「土砂災害から身を守るために」
202	H29.12.9	ワダイの防災カフェ	26	和歌山	107	「新たな切り口で紀伊半島大水害を分析する」
203	H29.12.12	県警察本部警備課	7	和歌山	45	「土砂災害から身を守るために」
204	H29.12.21	日高川町障害児者父母の会	15	和歌山	55	「土砂災害から身を守るために」
205	H29.12.25	第3回自然にやさしい技術者認定制度に関する研修会	61	和歌山	60	「現場に配慮した土砂災害対策」
206	H30.1.6	紀宝町社会福祉協議会	11	和歌山	40	「土砂災害から身を守るために」
207	H30.1.13	那智勝浦町 教育委員会 防災学習	19	和歌山	150	「土砂災害から身を守るために」
208	H30.1.16	すこやか上富田推進協議会	22	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
209	H30.1.16	中部教頭会	12	和歌山	120	「啓発センター概要説明」
210	H30.1.18	那智勝浦町立太田小学校防災学習	29	和歌山	105	「土砂災害から身を守るために」
211	H30.1.22	県警察本部警備課	10	和歌山	45	「土砂災害から身を守るために」
212	H30.1.23	新宮食生活改善推進協議会	38	和歌山	70	「土砂災害から身を守るために」
213	H30.1.25	那智勝浦町役場総務課	3	和歌山	25	「土砂災害を、考える」
214	H30.1.25	那智勝浦町消防本部	5	和歌山	55	「土砂災害を、考える」
215	H30.1.29	大阪府南河内郡大字加納土木水利組合	11	大阪	60	「土砂災害から身を守るために」
216	H30.1.31	国土交通省 都市安全課	6	(近畿)	30	館内案内
217	H30.2.3	ワダイの防災カフェ	22	和歌山	100	「発災後、被災地で如何に情報を共有するか～Old Mediaのラジオを見直す～」
218	H30.2.3	地域講演会 in かつらぎ町	200	和歌山	135	「かつらぎ町内における土砂災害に関する調査研究活動」 「伊都地域の土砂災害対策」
219	H30.2.16	神戸市アジア防災センター	4	兵庫	90	「土砂災害から身を守るために」
220	H30.2.17	奈良県大宮町大和路会	70	奈良	70	「土砂災害から身を守るために」
221	H30.2.19	滋賀県甲賀市消防団	9	滋賀	70	「土砂災害から身を守るために」
222	H30.2.22	田辺市立本宮小学校	7	和歌山	110	「土砂災害から身を守るために」
223	H30.2.25	名古屋市上社消防団	12	愛知	50	「土砂災害から身を守るために」
224	H30.2.25	滋賀県自由民主党竜王支部	30	滋賀	65	「土砂災害から身を守るために」
225	H30.2.25	堺市中区自治連合協議会	16	大阪	80	「土砂災害から身を守るために」
226	H30.3.4	新宮市千穂第一地区民生委員児童委員協議会	4	和歌山	125	「土砂災害から身を守るために」
227	H30.3.9	淀川河川協同団体 やましろ里の会	9	大阪	80	「土砂災害から身を守るために」
228	H30.3.12	橋本市学文路地区公民館	13	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
229	H30.3.20	日高川町老人クラブ連合会女性部	35	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
230	H30.3.20	兵庫県あすか観光 視察	3	兵庫	20	館内案内・現場説明
231	H30.3.28	わかやま市民生活協同組合	23	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
232	H30.4.2	那智勝浦町 新規採用職員	10	和歌山	120	「土砂災害から身を守るために」

回	開催日	団体名	人数	都道府県	研修時間(分)	内容(表題)
233	H30.4.8	田辺新宮ロータリークラブ	80	和歌山	100	「和歌山県土砂災害啓発センターのあらし」
234	H30.4.14	2018年度和歌山県本部自治研集会	80	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
235	H30.4.15	すさみ町平松地区自治会	40	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
236	H30.4.18	県警察本部警備課	3	和歌山	55	「紀伊半島大水害」とその後の取り組みについて
237	H30.4.25	東牟婁地方隣保館連絡協議会	17	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
238	H30.5.15	鹿児島県曾於市議会 総務常任委員会	8	鹿児島	60	「土砂災害から身を守るために」
239	H30.5.29	有田市連合自治会	47	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
240	H30.6.4	那智勝浦町立色川小学校総合学習	10	和歌山	115	「土砂災害についての学習」
241	H30.6.12	県庁津波サミット 下見	10	和歌山	55	啓発センターの概要・館内案内
242	H30.6.13	三重県松阪市小河坂光風会	19	三重	65	「土砂災害から身を守るために」
243	H30.6.21	三重県いなべ市老人クラブ連合会役員	10	三重	85	「土砂災害から身を守るために」
244	H30.6.24	大阪府四條畷市民生委員児童委員協議会	35	大阪	80	「土砂災害から身を守るために」
245	H30.6.24	名古屋市東区消防団長会	13	愛知	80	「土砂災害から身を守るために」
246	H30.6.25	和歌山市口須佐文化会館運営委員会	13	和歌山	135	「土砂災害から身を守るために」
247	H30.6.26	奈良県高取町自治会	18	奈良	95	「土砂災害から身を守るために」
248	H30.6.27	北海道音更町民生児童委員協議会	20	北海道	140	「土砂災害から身を守るために」
249	H30.7.1	和歌山県健康福祉部健康局区務課	24	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
250	H30.7.5	海南市多田自治会	37	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
251	H30.7.6	公益財団法人 滋賀県消防協会	21	滋賀	75	「土砂災害から身を守るために」
252	H30.7.11	中国大学生 一団	91	(国外)	100	「紀伊半島大水害」とその後の取り組みについて
253	H30.7.20	田辺市龍神地区民生児童委員連絡協議会	15	和歌山	85	「土砂災害から身を守るために」
254	H30.7.22	白浜町日置 安宅区自主防災組合	29	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
255	H30.7.26	豊田市区長会 総務委員会	25	愛知	75	「土砂災害から身を守るために」
256	H30.7.26	和歌山県高等学校理科研究会地学部会	8	和歌山	85	「紀伊半島大水害時の土砂災害と発生メカニズムについて」
257	H30.7.27	紀の川市貴志川区長会, 新宮建設部インターン	27	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
258	H30.7.31	新宮保健所	5	和歌山	110	「土砂災害から身を守るために」
259	H30.8.19	印南町古井むつ美会(婦人会)	15	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
260	H30.8.19	田辺市天神崎天理教少年会中紀団	19	和歌山	70	「土砂災害から身を守るために」
261	H30.8.21	広川町区長会, 広川町自主防災組織連絡協議会	22	和歌山	205	「土砂災害から身を守るために」
262	H30.8.22	和歌山大学「防災のつどひ」	8	和歌山	115	「土砂災害から身を守るために」
263	H30.8.22	陽光子の友 新宮	5	和歌山	60	「土砂災害から身を守るために」
264	H30.8.23	キャンプ砂防 2018	5	(全国)	230	「和歌山県土砂災害啓発センターの活動について」
265	H30.8.26	大津市消防団	59	滋賀	85	「土砂災害から身を守るために」
266	H30.8.27	日高郡議会事務局協議会	10	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
267	H30.8.29	国土交通省 研修会	13	(近畿)	55	「土砂災害から身を守るために」
268	H30.8.29	有田川町議会	5	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
269	H30.9.9	埼玉県桶川市消防団	11	埼玉	85	「土砂災害から身を守るために」
270	H30.9.12	紀宝町老人クラブ連合会	25	三重	80	「土砂災害から身を守るために」
271	H30.9.12	東海大学チャレンジセンター	5	神奈川	70	「土砂災害から身を守るために」
272	H30.9.14	田辺市秋津谷地区民生児童委員協議会	19	和歌山	105	「土砂災害から身を守るために」
273	H30.9.21	和歌山県PTA連合 第5ブロック研修会	18	和歌山	105	「土砂災害から身を守るために」
274	H30.9.25	大阪府枚方市 御殿山土地改良区役員	10	大阪	70	映像上映・館内案内
275	H30.9.28	太地町立太地中学校	58	和歌山	100	「土砂災害から身を守るために」
276	H30.9.28	新宮市立熊野川中学校	37	和歌山	105	「土砂災害から身を守るために」
277	H30.10.3	田辺市西部地区民生児童委員協議会	15	和歌山	85	「土砂災害から身を守るために」
278	H30.10.3	九度山町議会	5	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
279	H30.10.16	みなべ女性会 日赤奉仕団みなべ支部	14	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
280	H30.10.21	和歌山県赤十字特別救護隊	18	和歌山	100	「土砂災害から身を守るために」

回	開催日	団体名	人数	都道府県	研修時間(分)	内容(表題)
281	H30.10.21	滋賀県草津市笠縫学区民生児童委協議会	13	滋賀	60	「土砂災害から身を守るために」
282	H30.10.27	地域講演会 in 紀美野町	80	和歌山		考える、土砂災害
283	H30.10.27	くろしお児童館	18	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
284	H30.10.29	紀ノ川左岸土地改良区	9	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
285	H30.10.30	津波サミット(高校生)	160	(国外)	160	「Welcome to the Wakayama Sabo Research and Education Institute!」
286	H30.11.5	県警 警備部	9	和歌山	30	「土砂災害から身を守るために」
287	H30.11.8	なごやかクラブ中村指導者研修会A	36	愛知	80	「土砂災害から身を守るために」
288	H30.11.9	なごやかクラブ中村指導者研修会C	39	愛知	75	「土砂災害から身を守るために」
289	H30.11.9	なごやかクラブ中村指導者研修会B	44	愛知	75	「土砂災害から身を守るために」
290	H30.11.11	泉佐野市稲倉池土地改良区	15	大阪	80	「土砂災害から身を守るために」
291	H30.11.13	神戸市兵庫区民生委員児童委員協議会	22	兵庫	65	「土砂災害から身を守るために」
292	H30.11.18	野洲市堤自治会	6	滋賀	65	「土砂災害から身を守るために」
293	H30.11.19	四日市市天力須賀連合自治会	16	三重	85	「土砂災害から身を守るために」
294	H30.11.24	野洲市比留田自治会	8	滋賀	80	「土砂災害から身を守るために」
295	H30.11.28	豊田市猿投台地区区長会	9	愛知	100	「土砂災害から身を守るために」
296	H30.11.30	神戸市北区民生委員	19	兵庫	50	「土砂災害から身を守るために」
297	H30.12.1	四日市コンビナート連絡協議会	20	三重	80	「土砂災害から身を守るために」
298	H30.12.5	名古屋市中区消防団	19	愛知	70	「土砂災害から身を守るために」
299	H30.12.10	新宮市千穂第二地区民児協	11	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
300	H30.12.12	白浜町人権委員会 白浜町「人権のまちづくり」女性連絡会	29	和歌山	75	「土砂災害から身を守るために」
301	H30.12.13	河内長野市老人クラブ連合会	60	大阪	80	「土砂災害から身を守るために」
302	H30.12.26	青島市地震局訪問団	10	(国外)	70	「紀伊半島大水害」とその後の取り組みについて
303	H31.1.23	上富田町赤十字奉仕団	18	和歌山	80	「土砂災害から身を守るために」
304	H31.2.3	名古屋中村区消防団	20	愛知	90	「土砂災害から身を守るために」
305	H31.2.4	滋賀県建築組合甲南支部	11	滋賀	90	「土砂災害から身を守るために」
306	H31.2.10	高島市消防団	11	滋賀	80	「土砂災害から身を守るために」
307	H31.2.12	那智勝浦町立太田小学校	28	和歌山	110	「土砂災害を防ぐための取組・基礎知識」 大型模型水路実験
308	H31.2.14	橋本伊都副市町長会	11	和歌山	60	「土砂災害から身を守るために」
309	H31.2.15	木津川上流源精改修促進連成同盟会 木津川上流砂防事業促進協議会	15	奈良	45	那智川鳴子谷川1号堤防工事現場見学
310	H31.2.16	南紀熊野ジオパーク推進協議会	18	和歌山	115	紀伊半島大水害時の那智川流域の状況
311	H31.2.17	赤野井自治会	16	滋賀	60	「土砂災害から身を守るために」
312	H31.2.19	日本福祉大学	7	愛知	30	「土砂災害から身を守るために」
313	H31.2.19	田辺市東部地区民生児童委員協議会	17	和歌山	90	「土砂災害から身を守るために」
314	H31.2.20	那智勝浦町立市野々小学校職員	7	和歌山	90	「土砂災害についての学習」
315	H31.2.23	栗東市消防団第1分団	12	滋賀	100	「土砂災害から身を守るために」
316	H31.2.24	常安消防団(名古屋市緑区)	18	愛知	95	「土砂災害から身を守るために」
317	H31.3.1	田辺市立本宮小学校4年	6	和歌山	65	
318	H31.3.10	松本市の未来を語る会	14	長野	30	
319	H31.3.12	大阪市平野区長吉長原地区町内会南支部	13	大阪	50	
320	H31.3.14	那智勝浦ロータリークラブ	12	和歌山	40	
321	H31.3.24	浦神東区	17	和歌山	80	
322	H31.4.2	龍神村いごいの会	19	和歌山	100	土砂災害から身を守るために
323	H31.4.21	田辺市中屋敷町福祉協議会	5	和歌山	100	土砂災害から身を守るために
324	H31.4.22	上之郷土地改良区	8	大阪	60	土砂災害から身を守るために
325	R1.5.7	新宮信用金庫	10	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
326	R1.5.20	豊田市高橋連地区区長会	35	愛知	90	土砂災害から身を守るために
327	R1.5.27	坂井市三国町民生委員	30	福井	85	土砂災害から身を守るために
328	R1.5.28	和歌山県新規採用職員	15	和歌山	35	土砂災害による死者ゼロ

回	開催日	団体名	人数	都道府県	研修時間(分)	内容(表題)
329	R1.6.3	名古屋市港区消防団連合会	25	愛知	90	土砂災害から身を守るために
330	R1.6.12	橋本防災士の会	8	和歌山	80	土砂災害から身を守るために
331	R1.6.20	桶見地区老人クラブ	46	和歌山	70	土砂災害から身を守るために
332	R1.6.30	瀬戸市水野連区連合自治会	20	愛知	80	土砂災害から身を守るために
333	R1.7.3	桜井市民生委員児童委員連絡協議会	27	奈良	55	土砂災害から身を守るために
334	R1.7.12	那智勝浦町身体障害者連盟	11	和歌山	50	土砂災害から身を守るために
335	R1.7.13	山東師範大学	71	(国外)	130	和歌山県の土砂災害
336	R1.7.16	名古屋市名東区消防団団長会	25	愛知	60	土砂災害から身を守るために
337	R1.7.22	尼崎市消防団	9	兵庫	75	風水害から身を守るために
338	R1.8.5	共和コンクリート工業株式会社	10	(近畿)	140	風水害から身を守るために
339	R1.8.22	田辺市立龍神中学校1年	32	和歌山	135	紀伊半島大水害時の那智川流域の状況
340	R1.8.23	由良町民生児童委員協議会	20	和歌山	70	土砂災害から身を守るために
341	R1.8.28	那智勝浦町立那智中学校インターンシップ	4	和歌山	45	館内見学・模型実験
342	R1.8.28	那智勝浦町立市野々小学校職員	7	和歌山	105	防災教育に係る職員研修
343	R1.9.5	鷹だまり	28	兵庫	40	土砂災害から身を守るために
344	R1.9.11	那智勝浦町立勝浦小学校5年	28	和歌山	75	土砂災害から身を守るために
345	R1.9.24	一宮市神山民生児童委員連絡協議会	18	愛知	60	土砂災害から身を守るために
346	R1.9.27	那智勝浦町立市野々小学校2年	8	和歌山	50	土砂災害についての学習
347	R1.10.1	和歌山県警察本部	9	和歌山	40	土砂災害から身を守るために
348	R1.10.3	名古屋市民生委員児童委員連盟守山区支部	22	愛知	80	土砂災害から身を守るために
349	R1.10.3	新宮市立高田小学校5・6年	8	和歌山	75	土砂災害から身を守るために
350	R1.10.5	連合京都	10	京都	60	土砂災害から身を守るために
351	R1.10.7	那智勝浦町立市野々小学校3・4年	18	和歌山	90	土砂災害についての学習
352	R1.10.9	田辺市立新庄中学校2年	40	和歌山		
353	R1.10.14	名古屋市守山区鳥羽見消防団	14	愛知	85	土砂災害から身を守るために
354	R1.10.21	新城保健所	6	愛知	30	土砂災害から身を守るために
355	R1.10.21	守山市立白菊クラブ	31	滋賀	70	土砂災害から身を守るために
356	R1.10.24	那智勝浦町立市野々小学校5・6年	10	和歌山	50	土砂災害についての学習
357	R1.10.25	新宮警察署	10	和歌山	40	土砂災害から身を守るために
358	R1.10.28	岬町民生委員児童委員協議会	37	大阪	90	土砂災害から身を守るために
359	R1.10.30	東牟婁地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会	7	和歌山	70	土砂災害から身を守るために
360	R1.10.31	養父市関宮区長会	14	兵庫	90	土砂災害から身を守るために
361	R1.11.3	野洲市安治自治会	11	滋賀	70	土砂災害から身を守るために
362	R1.11.7	富田区長会	24	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
363	R1.11.7	笠岡市議会「新政みらい」	4	岡山	60	和歌山県の土砂災害
364	R1.11.9	名古屋市中村区八社学区連絡協議会	12	愛知	60	土砂災害から身を守るために
365	R1.11.13	日鉄建材近畿土鉄会	16	(近畿)	90	和歌山県の土砂災害
366	R1.11.14	田辺市大塚赤十字奉仕団	41	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
367	R1.11.14	富士見町広原財産区	20	長野	90	土砂災害から身を守るために
368	R1.11.15	津市美里行政局	18	三重	80	土砂災害から身を守るために
369	R1.11.19	千早赤阪村議会	7	大阪	60	和歌山県の土砂災害
370	R1.11.24	大垣市水防団	31	岐阜	60	和歌山県の土砂災害
371	R1.11.26	吉備年輪の会	102	岡山	80	土砂災害から身を守るために
372	R1.11.28	那智勝浦町立下里小学校	26	和歌山	130	土砂災害から身を守るために
373	R1.12.2	有田川町清水地区区長会	15	和歌山	80	土砂災害から身を守るために
374	R1.12.4	和歌山県立日高高等学校付属中学校	40	和歌山		
375	R2.1.18	野洲市須原自治会	6	滋賀	60	土砂災害から身を守るために
376	R2.1.25	地域講演会 in 日高川町	180	和歌山		考える、土砂災害
377	R2.1.21	みなべ町地域福祉計画策定委員会	16	和歌山	90	土砂災害から身を守るために

回	開催日	団体名	人数	都道府県	研修時間(分)	内容(表題)
378	R2.1.26	枚方市消防団	20	大阪	110	土砂災害から身を守るために
379	R2.2.1	地域講演会 in 紀の川市	250	和歌山		考える、土砂災害
380	R2.2.2	大山崎町下植野旅行会	19	京都	60	土砂災害から身を守るために
381	R2.2.17	尼崎市小田消防団	26	兵庫	90	土砂災害から身を守るために
382	R2.2.28	田辺市立本宮小学校4年生	8	和歌山	85	土砂災害から身を守るために
383	R2.3.16	熊野緑会第二なぎの木園	9	和歌山	30	紀伊半島のなりたち
384	R2.7.8	那智勝浦町消防本部	9	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
385	R2.7.15	那智勝浦町消防本部	10	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
386	R2.7.23	那智勝浦町消防本部	14	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
387	R2.7.29	那智勝浦町立市野々小学校5・6年	8	和歌山	45	地震に備えよう
388	R2.7.31	那智勝浦町立市野々小学校5・6年	8	和歌山	45	津波に備えよう
389	R2.8.6	新宮警察署	10	和歌山	30	土砂災害から身を守るために
390	R2.8.21	那智勝浦町役場	147	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
391	R2.8.21	那智勝浦町役場	0	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
392	R2.8.21	那智勝浦町役場	0	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
393	R2.8.28	特定非営利活動法人ネオ 相談室ラルゴ	15	和歌山	100	紙芝居・土砂災害マップの見方・質疑・感想
394	R2.9.1	那智勝浦町立太田小学校1・2年	4	和歌山	45	大雨に備えよう
395	R2.9.1	那智勝浦町立太田小学校3・4年	7	和歌山	45	土砂災害・洪水災害から身を守るために
396	R2.9.1	那智勝浦町立太田小学校5・6年	13	和歌山	45	土砂災害・洪水災害から身を守るために
397	R2.9.3	和歌山県立有田中央高等学校清水分校全校	14	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
398	R2.9.4	田辺市立龍神中学校1年	28	和歌山	180	土砂災害から身を守るために
399	R2.9.10	和歌山県消防学校	52	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
400	R2.9.11	和歌山県経営者協会	20	和歌山	75	土砂災害から身を守るために
401	R2.9.16	那智勝浦町立下里小学校4年	11	和歌山	45	土砂災害・洪水災害から身を守るために
402	R2.9.17	白浜町立西富田小学校6年	58	和歌山	70	土石流模型実験・氷の流れの実験
403	R2.9.30	和歌山県警察近畿管区警察局	10	和歌山	30	紀伊半島大水害とその後の取り組み
404	R2.10.1	那智勝浦町立市野々小学校3・4年	11	和歌山	45	ハザードマップを知ろう・調べよう
405	R2.10.1	那智勝浦町立市野々小学校1年	3	和歌山	45	土砂崩れ実験・土石流実験
406	R2.10.2	那智勝浦町立下里小学校4年	11	和歌山	110	土砂災害・洪水災害から身を守るために
407	R2.10.8	那智勝浦町立市野々小学校3・4年	11	和歌山	45	ひなんについて考えよう
408	R2.10.9	白浜町立三舞中学校3年	5	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
409	R2.10.9	新宮信用金庫	2	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
410	R2.10.12	電源開発株式会社	11	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
411	R2.10.13	那智勝浦町立市野々小学校3・4年	11	和歌山	45	ひなんについて考えよう
412	R2.10.15	和歌山県議会建設委員会	13	和歌山	55	センター概要・紀伊山系砂防事務所の事業概要
413	R2.10.15	電源開発株式会社	12	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
414	R2.10.16	和歌山県立新翔高等学校1年	97	和歌山	110	土砂災害から身を守るために
415	R2.10.18	日高川町立中津中学校3年	19	和歌山	50	土砂災害から身を守るために
416	R2.10.18	日高川町立美山中学校・早蘇中学校3年	15	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
417	R2.10.19	みなべ町立高城中学校全校	28	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
418	R2.10.22	電源開発株式会社	7	和歌山	80	土砂災害から身を守るために
419	R2.10.22	日高町立内原小学校6年	40	和歌山	30	土石流模型実験
420	R2.10.23	印南町立稲原中学校全校	35	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
421	R2.10.26	電源開発株式会社	5	和歌山	75	大規模土砂災害対策技術センターの最近の研究内容の紹介
422	R2.10.27	白浜町立安居小学校・三舞中学校防災学習会	40	和歌山	110	紀伊半島大水害～那智川では何が起こったのか～
423	R2.10.29	日高町立比井小学校6年	11	和歌山	70	土砂災害から身を守るために
424	R2.10.30	湯浅町立山田小学校5・6年	8	和歌山	45	土砂災害・洪水災害から身を守るために
425	R2.10.30	湯浅町立山田小学校3・4年	5	和歌山	45	土砂災害・洪水災害から身を守るために

回	開催日	団体名	人数	都道府県	研修 時間(分)	内容(表題)
426	R2.11.4	那智勝浦町立市野々小学校6年	5	和歌山	60	地質の勉強(大地のつくり・土地のでき方)
427	R2.11.4	和歌山県立なぎ看護学校	39	和歌山	90	土砂災害・洪水災害から身を守るために
428	R2.11.5	那智勝浦町立下里小学校5年	14	和歌山	90	「土砂災害・洪水災害」と「川の流れ」
429	R2.11.5	日高川町立丹生中学校3年	21	和歌山	50	土砂災害から身を守るために
430	R2.11.5	那智勝浦町立太田小学校	30	和歌山	40	土砂災害・洪水災害から身を守るために
431	R2.11.5	由良町立由良小学校6年	35	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
432	R2.11.9	中里いきいきサロン	16	和歌山	60	土砂災害・洪水災害から身を守るために
433	R2.11.9	みなべ町立上南部小学校6年	40	和歌山	70	土砂災害・洪水災害から身を守るために
434	R2.11.9	香久山地区自治委員会	11	奈良	45	土砂災害から身を守るために
435	R2.11.12	田辺市立中山路小学校・咲楽小学校6年	15	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
436	R2.11.13	印南町区長連絡協議会	23	和歌山	80	土砂災害から身を守るために
437	R2.11.16	高野町立花坂小学校1・2年	3	和歌山	45	土砂災害から命を守るための方法を考えよう
438	R2.11.16	高野町立花坂小学校3・4・5・6年	3	和歌山	45	土砂災害から身を守るために
439	R2.11.18	那智勝浦町立勝浦小学校4年1組	24	和歌山	45	土砂災害から身を守るために
440	R2.11.18	那智勝浦町立勝浦小学校4年2組	24	和歌山	45	土砂災害から身を守るために
441	R2.11.23	日本赤十字奉仕団古座川支部	10	和歌山	90	土砂災害・洪水災害から身を守るために
442	R2.11.24	那智勝浦町立勝浦小学校4年1組	25	和歌山	70	ハザードマップを知ろう
443	R2.11.24	那智勝浦町立勝浦小学校4年2組	24	和歌山	70	ハザードマップを知ろう
444	R2.11.24	那智勝浦町立字久井小学校5年	16	和歌山	45	土砂災害・洪水災害から身を守るために
445	R2.11.26	いきいきサロン浦神	19	和歌山	60	土砂災害・洪水災害から身を守るために
446	R2.11.27	那智勝浦町立字久井小学校5年	18	和歌山	90	ハザードマップを知ろう
447	R2.11.27	太地町立太地中学校全校	60	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
448	R2.11.30	那智勝浦町立字久井中学校1年	35	和歌山	50	土砂災害から身を守るために
449	R2.12.3	私立慶風高等学校	20	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
450	R2.12.5	壬生野地域まちづくり協議会 防犯防災実行委員会	17	三重	100	土砂災害から身を守るために
451	R3.1.13	那智勝浦町立市野々小学校5・6年	9	和歌山	45	防災RPG学習
452	R3.1.14	那智勝浦町立市野々小学校3・4年	11	和歌山	45	防災RPG学習
453	R3.1.18	広川町立津木小学校1・2年	10	和歌山	45	災害から命を守るための方法を考えよう
454	R3.1.18	広川町立津木小学校3・4年	6	和歌山	45	土砂災害・洪水災害から身を守るために
455	R3.1.18	広川町立津木小学校5・6年	10	和歌山	45	土砂災害・洪水災害から身を守るために
456	R3.1.22	東牟婁振興局新宮建設部	4	和歌山	70	土砂災害から身を守るために
457	R3.1.25	太地町立太地こども園年長児	16	和歌山	45	大雨のときの約束
458	R3.1.29	那智勝浦町立勝浦小学校5年1組	23	和歌山	45	土砂災害から身を守るために
459	R3.1.29	那智勝浦町立勝浦小学校5年2組	23	和歌山	45	土砂災害から身を守るために
460	R3.2.1	白浜町立安居小学校・三舞中学校	13	和歌山	90	防災RPG学習
461	R3.2.5	那智勝浦町立勝浦小学校5年1組	26	和歌山	90	ハザードマップを知ろう
462	R3.2.5	那智勝浦町立勝浦小学校5年2組	26	和歌山	90	ハザードマップを知ろう
463	R3.2.15	由良町立由良小学校6年	31	和歌山	80	防災RPG学習
464	R3.2.19	那智勝浦町立太田小学校5・6年	14	和歌山	105	防災RPG学習・ハザードマップ
465	R3.2.24	新宮市立高田中学校全校	13	和歌山	45	土砂災害から身を守るために
466	R3.3.5	日高川町立山野小学校5年	5	和歌山	120	土砂災害について学習しよう
467	R3.3.9	熊野川町小口地区(3区)	10	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
468	R3.3.15	日高川町立山野小学校4年・5年	10	和歌山	30	土砂災害を学ぼう
469	R3.3.15	東牟婁地方子ども会連絡協議会	19	和歌山	60	土砂災害から身を守るために
470	R3.3.16	那智勝浦町立字久井中学校1年	34	和歌山	90	土砂災害から身を守るために
471	R3.3.16	社会福祉法人つばさ福祉会工コ工房四季	40	和歌山	60	土砂災害から身を守るために

地域講演会「考える、土砂災害」 ～歴史から学びあらためて土砂災害を考える～を開催

地域住民の皆様が土砂災害について考え、いざというときの安全かつ迅速な避難に役立てていただくことを目的として、和歌山県土砂災害啓発センターが県内各地で地域講演会を開催します。今回はその第1回目として2月16日に那智勝浦町において講演会を開催しました。

1. 主催者挨拶

和歌山県土砂整備部森戸部長が挨拶を行いました。



2. 特別講演

(一財)砂防フロンティア整備推進機構技師長の井上公夫様より、那智川流域や東牟婁地域における過去の土砂災害の記録等についてご講演いただきました。



会場内の様子

開催日時：平成29年2月16日(木)13:30～15:45
会場：那智勝浦町体育文化会館
主催：和歌山県
参加者：約150名

3. 発表

- ・国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センターの田中健貴氏から土砂災害に関する調査研究活動をご紹介いただきました。
- ・和歌山県土砂災害啓発センターの坂口所長が紀伊半島大水害の被災箇所における県の砂防事業や当センターの活動について発表を行いました。



大規模土砂災害対策技術センター 田中健貴氏



土砂災害啓発センター 坂口所長

4. 閉会挨拶

開催地である那智勝浦町の植地副町長よりご挨拶いただきました。



【問い合わせ先】

和歌山県土砂災害啓発センター
〒649-5302
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6
TEL:0735-29-7531
メール：e0806041@pref.wakayama.lg.jp

地域講演会「考える、土砂災害」

～和歌山発 最新情報通信技術で身を守る～ を開催

平成29. 10. 07
和歌山県土砂災害啓発センター

地域住民の皆様が土砂災害について考え、いざという時の安全かつ迅速な避難に役立てて頂くことを目的として、和歌山県土砂災害啓発センターが県内各地で地域講演会を開催します。その第2回目として10月7日に有田川町において講演会を開催しました。

1. 主催者挨拶

和歌山県県土整備部 永田河川・下水道局長が挨拶を行いました。



2. 特別講演

和歌山大学災害科学教育研究センターの秋山演亮教授より、最新の情報通信技術を防災に生かすアイデア等について、ご講演いただきました。



会場内の様子



3. 発表

・国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センターの木下篤彦氏から有田川流域における土砂災害に関する調査研究活動の紹介をいただきました。

・和歌山県土砂災害啓発センターの坂口所長が有田地域の砂防事業について発表を行いました。



大規模土砂災害対策技術センターの木下篤彦氏



和歌山県土砂災害啓発センターの坂口所長

4. 閉会挨拶

開催地である有田川町の竹中総務課長よりご挨拶いただきました。



有田川町の竹中総務課長



展示スペース

開催日時:平成29年10月7日(土)13:30～15:45
会場:有田川町金屋文化保健センター
主催:和歌山県
協力:国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター
有田川町
参加者:約120名

地域講演会「考える、土砂災害」 ～土砂災害から身を守るために必要なこと～を開催

地域住民の皆様が土砂災害について考え、いざという時の安全かつ迅速な避難に役立てて頂くことを目的として、和歌山県土砂災害啓発センターが県内各地で地域講演会を開催しています。その第3回目として2月3日にかつらぎ町において講演会を開催しました。

1. 主催者挨拶

和歌山県県土整備部 永田河川・下水道局長が挨拶を行いました。



2. 特別講演

広島大学大学院総合科学研究科の海堀正博教授より、「土砂災害から身を守るために必要なこと～広島県の土砂災害の教訓～」についてご講演いただきました。



会場内の様子



展示スペース

3. 発表

・国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センターの木下篤彦氏から「かつらぎ町内における土砂災害に関する調査研究活動」の紹介をいただきました。

・和歌山県土砂災害啓発センターの坂口所長が「伊都地域の土砂災害対策」について発表を行いました。



大規模土砂災害対策技術センターの木下篤彦氏



和歌山県土砂災害啓発センターの坂口所長

4. 閉会挨拶

開催地であるかつらぎ町の井本町長よりご挨拶いただきました。



かつらぎ町の井本町長

開催日時:平成30年2月3日(土)13:30～15:45
会場:かつらぎ体育文化会館
主催:和歌山県
協力:国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター
かつらぎ町
参加者:200名

地域講演会「考える、土砂災害」 ～近年の土砂災害から学ぶこと～ を開催

地域住民の皆様が土砂災害について考え、いざという時の安全かつ迅速な避難に役立てて頂くことを目的として、和歌山県土砂災害啓発センターが県内各地で地域講演会を開催しています。その第4回目として10月27日に紀美野町において講演会を開催しました。

1. 主催者挨拶

和歌山県県土整備部河川・下水道局長 永田が挨拶を行いました。



2. 特別講演

京都大学防災研究所の藤田 正治 教授より、「近年激甚化する土砂災害から身を守るための知識」と題してご講演いただきました。



会場内の様子



展示スペース



3. 発表

国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センターの木下 篤彦 主任研究官より「紀美野町における大規模土砂災害に関する研究活動」をご紹介いただきました。



和歌山地方気象台の大西 実 土砂災害気象官より、「近年の大雨の特徴と防災気象情報」についてご紹介いただきました。



4. 閉会挨拶

開催地である紀美野町の寺本町長よりご挨拶いただきました。



開催日時: 平成30年10月27日(土) 13:30～15:45
会場: 紀美野町総合福祉センター
主催: 和歌山県
協力: 国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター
紀美野町
参加者: 約80名

地域講演会「考える、土砂災害」 ～命を守るための知識と行動～ を開催

地域住民の皆様が土砂災害について考え、いざという時の安全かつ迅速な避難に役立てて頂くことを目的として、和歌山県土砂災害啓発センターが県内各地で地域講演会を開催しています。その第5回目として1月25日に日高川町において講演会を開催しました。

開会あいさつ

開催地である日高川町の久留米 啓史 町長、地元選出の富安 民浩 県議会議員にご挨拶を賜りました。



久留米町長



富安県議

講演 1

国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センターの木下 篤彦 主任研究官より「日高川町における大規模土砂災害に関する研究活動」と題してご講演いただきました。



会場内の様子



講演 2

和歌山地方気象台の大西 実 土砂災害気象官より、「近年の大雨の特徴と防災気象情報」についてご紹介いただきました。



解説

砂防課が、土砂災害防止法についての説明を行いました。



展示スペース



開催日時: 令和2年1月25日(土) 13:30～15:45
会場: 日高川町防災センター
主催: 和歌山県
協力: 国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター、日高川町
参加者: 約180名

地域講演会「考える、土砂災害」 ～命を守るための早期避難～ を開催

地域住民の皆様が土砂災害について考え、いざという時の安全かつ迅速な避難に役立てて頂くことを目的として、和歌山県土砂災害啓発センターが県内各地で地域講演会を開催しています。その第6回目として2月1日に紀の川市において講演会を開催しました。

開会あいさつ

開催地である紀の川市の中村慎司市長に開会のご挨拶を賜りました。



特別講演

一般社団法人全国治水砂防協会の岡本正男副会長より「土砂災害を知る・備える・行動する」と題してご講演いただきました。



会場内の様子



講演 1

国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センターの木下 篤彦 主任研究官より「紀伊半島における大規模土砂災害に関する研究活動」についてご紹介いただきました。



講演 2

和歌山地方気象台の大西 実 土砂災害気象官より、「近年の大雨の特徴と防災気象情報」についてご紹介いただきました。



展示スペース



開催日時: 令和2年2月1日(土) 13:30~15:45
会場: 紀の川市役所南別館4階 ホール田園
主催: 和歌山県
協力: 国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター、紀の川市
参加者: 約250名

参考資料⑤ 和歌山県土砂災害啓発センター職員名簿

○啓発センター所長

坂口 武弘 平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

坂口 隆紀 平成 31 年 4 月 1 日～現在

○啓発センター員

主 査 西岡 恒志 平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

主 査 筒井 和男 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
令和 2 年 4 月 1 日～現在

主 査 福田 和寿 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

主 査 長井 達磨 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

副主査 久田 昭文 平成 29 年 4 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日

主 査 崎山 朋紀 平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

主 査 榎原 伴樹 平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

副主査 岸畑 明宏 平成 31 年 4 月 1 日～現在

主 査 宮崎 徳生 令和 2 年 4 月 1 日～現在

○土砂災害啓発施設管理員

小脇 邦雄 平成 28 年 4 月～平成 30 年 3 月 31 日

宮原 芳宏 平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

森 要^{※1} 令和 2 年 4 月 1 日～現在

^{※1} 会計年度任用職員

○事務員（平日）^{※2}

太田 瑞希 平成 28 年 4 月～令和 3 年 3 月 31 日

佐藤 純子 令和 3 年 4 月 1 日～現在

○事務員（土・日・祝日）^{※2}

濱 龍児 平成 28 年 4 月 1 日～現在

^{※2} 那智勝浦町職員

あとがき

平成 23 年の紀伊半島大水害では、それまでの想定をはるかに超える自然の猛威を見せつけられました。紀南地方では 2,000 mm もの雨が降り、いくつもの河川が溢れ、深層崩壊・土石流やがけ崩れが多発し、道路は各地で寸断され、61 名の方が尊い命を失うという未曾有の大災害でありました。

それから 10 年。被災後の生活基盤の復旧や、今後の災害を予防するためのハード対策は概ね完了しましたが、一方で、平成 26 年 8 月豪雨、平成 29 年台風第 21 号、平成 30 年 7 月豪雨など、甚大な被害をもたらす気象は近年の気候変動により度々発生しており、土砂災害に対する警戒や避難の重要性は高まるばかりです。

このような情勢下、5 年目を迎える和歌山県土砂災害啓発センターでは、開所以来土砂災害に関する調査研究・小中学校の防災教育や団体研修などに積極的に取り組まれており、「土砂災害犠牲者ゼロ」を目指した幅広い啓発活動が今後も期待されるところです。

また、国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センターにおける大規模土砂災害のメカニズム研究究明は全国からの願いでもあります。

土砂災害の調査・研究・啓発に携わられる皆様の今後一層のご活躍を期待申し上げます。

令和 3 年 4 月

全国治水砂防協会和歌山県支部 支部長 真砂 充敏

MEMO

A series of 20 horizontal dashed lines for writing.